

**アクションプラン**  
**第2期計画2年目報告書**  
**(令和4年度)**

**釧網線**

---

**令和5年8月**

**釧網線アクションプラン実行委員会**

# 1. はじめに

---

- **本報告書は、令和3年4月16日に公表されたアクションプラン第2期計画2年目の取組状況について、釧網線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **第2期計画2年目は、新型コロナウイルスの影響を引き続き受けたが、感染拡大防止に最大限留意しながら、線区を活性化するためアクションプランの推進に取り組んだ。**
- **本検証とともに、JR北海道と地域の関係者が連携して実施している調査・実証事業の結果を踏まえて、令和5年度内に行う総括的な検証につなげていく。**

## 2. 基本指標・関連指標の検証

### 基本指標の概況

- ・線別収支は、▲1,606百万円となり基準とした平成29年度より109百万円下回った。  
営業収益は「くしろ湿原ノロッコ号」など観光列車の利用促進に取り組んだほか、行動制限の緩和によりご利用が増加したこと等から、対前年90百万円増加した271百万円（対前年150%）となった。  
営業費用は橋梁塗装等の修繕費が減少したことなどにより、対前年56百万円減少した1,877百万円（対前年97%）となった。  
線別収支は結果として、対前年+146百万円となった。
- ・輸送密度は294人/日となり基準とした平成29年度より80人/日下回った。

#### ▼令和4年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和4年度 (実績)	対目標	目標 達成
線別収支	▲1,497百万円	▲1,606百万円	▲109百万円	未達成
輸送密度	374人/日	294人/日	▲80人/日	未達成

### 3. 具体的取組の検証

#### 進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、目標達成「◎」が3%、達成見込み「○」が79%、一部達成「△」が9%、未評価「－」が9%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。

#### ▼令和4年度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
◎	2	3%	釧網線90周年事業の取組など
○	53	79%	「くしろ湿原ノロッコ号」、「SL冬の湿原号」運行へのご協力、線路集中メンテナンス実施など
△	6	9%	通学定期購入への助成など
－	6	9%	利用実態調査など
合計	67	100%	

# 4. 令和4年度象徴的な取組について①

取組内容	取組状況等		目標達成
<p>(1)くしろ湿原ノロッコ号の利用増、運行に対するご協力</p>	<p>4月29日、「くしろ湿原ノロッコ号」の運行開始に伴い関係自治体等の皆様と3年ぶりに出発式を開催した。初日から多くのお客様で賑わい、車窓から釧路湿原の雄大な景色を満喫していただいた。</p>	 <p>(4月29日撮影・釧路駅)</p>	<p>○</p>
	<p>「くしろ湿原ノロッコ号」を10月8日に川湯温泉駅まで延長運転した。列車内では標茶高校生による観光ガイド、車内販売を実施した。標茶駅、川湯温泉駅では特産品の販売、ワインの試飲会を開催した。</p>	 <p>(10月8日撮影・川湯温泉駅/車内)</p>	<p>○</p>

## 4. 令和4年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(2) 友好都市の体験研修による釧網線乗車</p>	<p>網走市が主催する「あばしり青少年自然文化体験研修」として、7月27日に網走市と友好都市である神奈川県厚木市の青少年及び関係者49名が知床斜里駅から藻琴駅間を乗車し、オホーツクの大自然を体験した。</p>	 <p>(7月27日撮影・知床斜里駅)</p> <p style="text-align: center;">○</p>
<p>(3) 長期滞在者向けツアーの実施</p>	<p>釧路市は、8月10日、釧路市民と避暑等で長期に滞在されている方々との交流を図る「長期滞在者ヒストリーツアー」を標茶町塘路地区で開催した。往路は茅沼駅で標茶町によるお出迎えを実施、復路は塘路駅から「くしろ湿原ノロッコ号」に乗車し、参加者は広大な自然を堪能した。</p>	 <p>(8月10日撮影・茅沼駅)</p> <p style="text-align: center;">○</p>

## 4. 令和4年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等		目標達成
<p>(3)オホーツクSEA TO SUMMIT」で臨時列車を運転</p>	<p>6月19日、3年ぶりに網走市・小清水町で開催された「オホーツクSEA TO SUMMIT」のコースに釧網線を組み込んで頂き、当日は「専用臨時列車」を運転し、大会関係者、参加者約120名にご乗車いただいた。</p>	 <p>(6月19日撮影・浜小清水駅)</p>	<p>○</p>
<p>(4)「サイクルトレインモニターツアー」の実施</p>	<p>10月30日、釧網線活性化を目的に、サイクルトレインモニターツアーを初めて実施した。国(鉄道・運輸機構)と北海道による助成・補助制度を活用したH100形ラッピング車両を使用し、JR釧網本線維持活性化実行委員会が主体となって団体臨時列車を運行した。</p>	 <p>(10月30日撮影・車内)</p>	<p>○</p>

## 4. 令和4年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等		目標達成
<p>(5) SL冬の湿原号の利用増、運行に対するご協力</p>	<p>1月21日、3年振りにSL運転初日の出発式を地元自治体の皆様と開催した。SL冬の湿原号は客車リニューアルが全て完成し、車内販売品は地元の特産品を揃えて販売し、お客様に好評だった。</p>	 <p>(1月21日撮影・釧路駅)</p>	<p>○</p>
<p>(6) ご利用の少ない駅の季節営業化による維持管理費の節減</p>	<p>地域の皆様のご理解をいただき、3月のダイヤ改正で冬期間ご利用の少ない細岡駅を「季節営業駅」とした。4月25日から11月30日までを営業、12月1日から営業停止とし冬期除雪費、電気代等の経費節減となる。</p>	 <p>(細岡駅)</p>	<p>○</p>



## 5. 令和4年度取組の検証

- ・新型コロナウイルス感染拡大に最大限留意しながら、JR北海道と地域の皆様が一体となってアクションプランを推進することにより、釧網線を活性化するために取り組む機運の醸成がなされた。
- ・観光列車利用促進の取組やキャンペーンの展開などに地域の皆様と取り組み、観光線区としての線区特性を発揮した。
- ・線路の持続性を維持するため、令和4年度においても「線路集中メンテナンス日」を設定し、集中工事を行い、安全性向上を図った。
- ・釧網線アクションプラン実行委員会にはWILLERも参画しており、将来の需要喚起のため、令和4年度においてもリモートトラベルを実施した。
- ・新型コロナウイルスの影響もあり、基準とした平成29年度の目標値に対して、線区収支は▲109百万円、輸送密度は▲80人/日となり、目標は未達成にある。
- ・今後については、新型コロナウイルスが5類感染症に移行し国内・海外とも観光需要が回復基調にあることから、引き続き観光線区としての強みを生かした取組を積極的に行うとともに、経費節減の取組を推進し、線区の収支改善を図る。



取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間								
							R1		R2		R3		R4		R5				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(4) 他の交通機関等との連携	バス、タクシー等との相互連携の推進 ダイヤ改正時のダイヤの相互連絡の改善	全自治体 JR北海道 その他	○																
(5) 拠点としての駅の活用	①地域の皆様のご協力による観光案内所・売店・飲食店等の設置	自治体 JR北海道	○																
	②駅舎の整備 ア. 待合室、ホーム屋根、トイレ等の駅設備の新設改修	自治体 JR北海道	○																
	イ. Wi-Fi環境の整備・管理	自治体 JR北海道	○																
	③駅前整備 駅前広場の整備	自治体	○																
	④駅の活用 ア. 特色ある駅舎の整備	JR北海道 自治体	○																
	⑤駅を中心としたにぎわい創出 駅周辺に店舗・公共施設等の設置の拡大	自治体 その他	○																
(6) 当社の行き届かない取組 に対するご協力	駅的环境美化の取り組み	自治体	○																
(7) 全道利用促進取組との連携	北海道鉄道活性化協議会との連携	全自治体 北海道 JR北海道	○																

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

2 生活利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール													
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間					
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5	
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) お客様サービスの向上	①「スマホ定期券」の活用	JR北海道	○													
	②サービスレベルの向上 ・大規模輸送障害発生時等の運休等の情報内容の充実	JR北海道	○													
(2) 公共交通の利用促進	①マイレール意識の醸成に向け鉄道利用をよびかけるとともに乗車運賃等への助成	自治体	△													
	②学生の通学定期券購入に対する助成制度の検討	自治体	△													

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

3 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																		
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間										
							R1		R2		R3		R4		R5						
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期					
(1) 国内外から釧網線にお越し いただくための取組	①観光列車の運行	○																			
	ア. くしろ湿原ノロッコ号の利用増、運行に対するご協力※		JR北海道 自治体																		
	イ. SL冬の湿原号の利用増、運行に対するご協力、 SL協議会開催		JR北海道 自治体																		
	ウ. 流水物語号の利用増、運行に対するご協力	JR北海道 自治体 その他	○																		
	②商品造成やキャンペーンの実施	○																			
	ア. LCCと釧網本線をセットした商品の継続・増売		JR北海道																		
	イ. 鉄道を利用する観光客への助成		JR北海道 自治体 その他																		
	ウ. 駅を発着し観光地・観光施設を巡るバスの運行※		自治体																		
	エ. 観光施設巡りバスの運行	JR北海道 自治体 その他	○																		
	③閑散期の需要創出 「フリーバス」等を活用した釧網線利用促進の取組	JR北海道	○																		
	④PR活動の実績 各種媒体によるPR	協議会 JR北海道	○																		
	⑤観光案内所の充実 観光案内所において、鉄道利用観光客への 対応充実を図る	自治体	○																		
	⑥宣伝協力	-																			
	ア.札幌駅や新千歳空港駅等での宣伝協力		JR北海道 全自治体																		
	イ.管内各駅での宣伝協力	JR北海道	○																		
⑦その他	○																				
ア. スマホを使った観光案内・外国語対応の実施	JR北海道	○																			

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5		
							上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
⑧釧網線90周年事業の取り組み	自治体 JR北海道	◎															
	北海道	◎															
(2) 外部事業者との連携	観光鉄道としての利用促進の取組	全自治体 WILLER JR北海道 その他	○														
(3) 地域の皆様と連携した取組の推進	①観光資源の積極的な活用※	自治体 JR北海道 その他	○														
	②観光列車等利用促進や、駅装飾等にぎわいの創出に 取り組む市民団体等に対する助成	自治体 その他	○														
	③沿線でのイベント・施設などに関する情報共有や利用 の働きかけ※	全自治体 その他	○														
	④ヘルシーウォーキングやエコツアーリズム推進に伴う ロングトレイル構想による利用促進	JR北海道 自治体	○														
	⑤釧網線とアクティビティをセットしたサービスの展開 温泉・カヌー体験等	自治体 北海道 JR北海道 その他	○														
	⑥鉄道を利用した長期滞在者との交流事業※	自治体	○														
	⑦「オホーツクSEA TO SUMMIT」の開催において、釧網 線を活用したコース設定により、釧網線のPRと利用促 進を図る※	自治体 JR北海道 その他	○														
	⑧ ふるさと納税返礼品等	自治体	○														
	⑨「THE ROYAL EXPRESS～HOKKAIDO CRUISE TRAIN」 沿線におけるおもてなし	全自治体 北海道 JR北海道	○														
	⑩ 釧網線の利用促進を目的としたツアーの実施	協議会	○														
	⑪「HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号」運転 沿線におけるおもてなし	全自治体 北海道 JR北海道	○														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組



Ⅲ. その他

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5		
							上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) あるべき交通体系について 徹底的な検討	①あるべき交通体系について地域の 皆様と検討の開始	全自治体 北海道 JR北海道	△														
	②2次交通との連携に向けた検討	全自治体	△														
	ア. 鉄道とバスの連携による相互に成り 立つ仕組み作りに向けた検討の開始	北海道 JR北海道 その他															
イ. 地域公共交通計画の策定 鉄道、バスなどの連携による地域に 最適な公共交通の検討	網走市 JR北海道 その他 北海道	△															
(2) 街づくりについての検討	駅都心部まちづくりの検討	自治体 JR北海道 その他	○														
(3) その他地域の皆様と 一体となった取り組み	相互連携の検討	全自治体 北海道 JR北海道 その他	—														
(4) 鉄道設備を維持するための 取り組みの検討	鉄道設備を維持するため、集中工事等を実施する仕組み 作りを関係自治体と協議し行う。	全自治体 北海道 JR北海道	○														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組



**アクションプラン**  
**第2期計画2年目報告書**  
**(令和4年度)**  
**花咲線**

---

**令和5年8月**

**花咲線アクションプラン実行委員会**

# 1. はじめに

---

- **本報告書は、令和3年4月16日に公表されたアクションプラン第2期計画2年目の取組状況について、花咲線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **第2期計画2年目は、新型コロナウイルスの影響を引き続き受けたが、感染拡大防止に最大限留意しながら、線区を活性化するためアクションプランの推進に取り組んだ。**
- **本検証とともに、JR北海道と地域の関係者が連携して実施している調査・実証事業の結果を踏まえて、令和5年度内に行う総括的な検証につなげていく。**

## 2. 基本指標・関連指標の検証

### 基本指標の概況

- ・線区別収支は、▲1,132百万円となり、基準とした平成29年度より22百万円下回った。  
営業収益は、行動制限の緩和によりご利用が増加したこと等により、対前年29百万円増加した158百万円（対前年123%）となった。  
営業費用は、動力費が増加した一方、修繕費が減少したことにより、対前年1百万円増加した1,290百万円（対前年100%）となった。  
線区別収支は結果として、対前年+28百万円となった。
- ・輸送密度は、190人/日となり、基準とした平成29年度より74人/日下回った。

#### ▼令和4年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和4年度 (実績)	対目標	目標 達成
線区別収支	▲1,110百万円	▲1,132百万円	▲22百万円	未達成
輸送密度	264人/日	190人/日	▲74人/日	未達成

### 3. 具体的取組の検証

#### 進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、目標達成「◎」が3%、達成見込み「○」が65%、一部達成「△」が10%、未評価「－」が22%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。



#### ▼令和4年度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
◎	2	3%	100周年事業の取り組みなど
○	41	65%	花咲線利用可能性調査、首都圏・関西圏での旅行企画造成依頼など
△	6	10%	列車内ご当地弁当の取組など
－	14	22%	あるべき交通体系の検討など
合計	63	100%	



## 4. 令和4年度象徴的な取組について①

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(1)地球探索鉄道花咲線プロジェクトによる利用促進PR事業</p>	<p>「地球探索鉄道花咲線」をPRする新しい大型ポスターを釧路駅と根室駅に掲出した。地球探索鉄道のイメージカラーの赤と白を使用し、沿線の魅力が網羅された大迫力のポスターは、駅を訪れた人の目を引いた。</p> <div data-bbox="1326 427 1827 810" data-label="Image"> </div> <p>(5月21日撮影・釧路駅/根室駅)</p>	<p>○</p>
<p>(2)花咲線利用可能性調査の取り組み</p>	<p>根室市は、「花咲線利用可能性調査事業」により、7月16日から9月末まで車両増結を行い、これに合わせて花咲線をPRするデジタルサイネージを新千歳空港駅に掲出した。白と赤のコントラストによる「地球探索鉄道・花咲線」は、駅利用者の目を引くものとなった。</p> <div data-bbox="1296 900 1841 1359" data-label="Image"> </div> <p>(7月16日・釧路駅 9月12日・新千歳空港駅)</p>	<p>○</p>


## 4. 令和4年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(3)地域の皆様と連携した取り組み</p>	<p>6月9日、厚床中学校の生徒11名が初夏の風物詩「すずらん贈り」を実施した。校内に自生している「すずらん」を一輪ずつラッピングし、手作りの『また根室に来て下さい』等と書かれた短冊と共にご乗車のお客様にプレゼントした。</p>	 <p>(6月9日撮影・厚床駅)</p> <p style="text-align: center;">○</p>
	<p>7月9日より、根室駅～厚床駅間において、地元の特産品等の車内販売を実施した。お客様は、特産のサンマ丼等を味わいながら、車窓から見える花咲線の雄大な景色を堪能した。</p>	 <p>(7月9日撮影・根室駅～厚床駅間車内)</p> <p style="text-align: center;">○</p>

## 4. 令和4年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等	目標達成	
<p>(3)地域の皆様と連携した取り組み</p>	<p>厚岸町立厚岸小学校6年生による社会科授業の取り組みとして、地元・厚岸の見所や歴史を掲載した「手作り誘客ポスター」を釧路駅に掲出した。「このポスターを見て、沢山の人が厚岸に来てほしい」との願いが込められている。</p>	 <p>(1月26日撮影・釧路駅)</p>	○
<p>(4)全道利用促進の取り組みとの連携</p>	<p>「HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号」が10月1日に初めて花咲線を運行した。厚岸駅や茶内駅では地域の皆様が横断幕や小旗を振った歓送迎を行い、終着の根室駅でもジャズ演奏など盛大な歓迎を行った。乗車のお客様は沿線の雄大な景色を満喫した。</p>	 <p>(10月1日撮影・茶内駅/根室駅)</p>	○

## 4. 令和4年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等	目標達成	
<p>(5)道外から花咲線にお越しいただくための取り組み</p>	<p>花咲線沿線への観光客誘致を図る目的で釧路町・厚岸町・浜中町の3町合同の「広域観光推進協議会」が主催した「関西圏プロモーション」を2月27日・28日に実施した。3町の代表者が旅行会社4社を含めた航空会社等へ直接赴き、北海道への旅行造成のセールスを行った。</p>	 <p>(2月27・28日)</p>	○
<p>(6)他の交通機関等との連携</p>	<p>野生動物との衝突事故を回避し、急ブレーキによる車輪損傷を減らすために、12月5日から、花咲線の一部列車で減速運転を実施した。これに伴い浜中町では茶内駅で接続する浜中町営バスの運行時刻を変更し、町のホームページやポスター掲示により周知した。</p>	 <p>(12月6日撮影・茶内駅)</p>	○



## 5. 令和4年度取組の検証

- ・ **新型コロナウイルス感染拡大に最大限留意しながら、JR北海道と地域の皆様が一体となってアクションプランを推進することにより、花咲線を活性化するために取り組む機運の醸成がなされた。**
- ・ **花咲線利用可能性調査事業を行い、観光線区として線区の活性化を図るための施策の検討を行った。**
- ・ **道外から花咲線沿線への観光客誘致を図る目的で釧路町・厚岸町・浜中町からなる3町合同の「関西圏プロモーション」を実施し、北海道への旅行造成のセールスを行った。**
- ・ **新型コロナウイルスの影響もあり、基準とした平成29年度の目標値に対して、線区収支は▲22百万円、輸送密度は▲74人/日となり、目標は未達成にある。**
- ・ **今後については、新型コロナウイルスが5類感染症に移行し国内・海外とも観光需要が回復基調にあることから、引き続き観光利用の可能性を探る取組を積極的に行うとともに、経費節減の取組を推進し、線区の収支改善を図る。**

I. 利用促進  
1 共通

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
							R1		R2		R3		R4		R5		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) 利用実態調査	①統計値では把握しがたいお客様の層等を掌握する実態調査の実施。*11月の乗降人員調査とは別に行う ・利用目的 (日常利用/観光利用/広域交通) ・お客様の属性 (性別/年齢/居住地等) ・その他	JR北海道 全自治体	—														
	②花咲線利用可能性調査の実施 ・夏場の繁忙期における試験運行の実施 (繁忙期の一部列車に車両を1両増結) ・利用可能性調査の実施 (今後の運行可能性を調査) ・調査結果に基づく意見交換、施策検討	自治体 JR北海道	○														
(2) 輸送サービスの向上	限りある車両でどのようなダイヤがよいか、地域の皆様のご意見をお聞きする意見交換の実施	全自治体 JR北海道	—														
(3) マイレール意識の醸成	①JR北海道問題に対する関心を高める取組 ・広報誌やホームページ等を活用し 鉄道特集記事を掲載	全自治体 その他	○														
	②リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革期間の内容等について利用者にご理解頂く資料の作成	JR北海道	—														
	③生活科見学の一環としてJR体験乗車及び駅業務見学の実施	自治体 JR北海道	—														
	④「COOL CHOICE」の取組みやノーマイカーデー実施による鉄道利用促進	自治体	○														
(4) 他の交通機関等との連携	①バス、タクシー等との相互連携の推進 ア. ダイヤ改正時のダイヤの相互連絡の改善など	全自治体 JR北海道 他の交通機関(バス・タクシー等)	○														



取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
							R1		R2		R3		R4		R5		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(5) 拠点としての駅の活用	③ 駅舎の整備																
	ア. 待合室の駅設備の改修など ・釧路駅待合室の維持・管理	JR北海道	○														
	イ. Wi-Fi環境の維持・管理	JR北海道	○														
(6) 全道利用促進取組との連携	北海道鉄道活性化協議会との連携	全自治体															
	ア.公共交通の利用促進に向けた道民運動の展開	北海道 JR北海道	○														
	イ.鉄道をはじめとする公共交通利用者の拡大(乗車に繋がる施策の展開) ・道民の利用拡大 ・観光客の利用拡大 ・利用促進に向けた地域の取組との連携		○														
	ウ.本道における鉄道網の重要性や地域の取組等を全国へ発信		○														
	エ.感染症により失われた公共交通需要の回復		○														
(7) 当社の行き届かない取組 に対するご協力	駅的环境美化の取り組み ・釧路駅 駅前花壇整備 ・別保駅 駅前花壇整備 ・上尾幌駅 駅前花壇整備 ・尾幌駅 駅前花壇整備 ・厚岸駅 駅前花壇整備 ・浜中駅 駅前花壇(プランター)整備	自治体 その他	○														





取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
							R1		R2		R3		R4		R5		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(3) 道内外から花咲線にお越しいただくための取組	①商品造成やキャンペーンの実施																
	ア. ひがし・きた北海道キャンペーン等の継続、関連商品の増売 (ひがし・きた北海道フリーきっぷ、ひがし北海道フリーきっぷ等)	JR北海道 その他	○														
	イ. 花咲線を意識したツアー(ガイド付サイクリングツアー等)の企画・実施	自治体 JR北海道 その他	—														
	ウ. 首都圏(駅・空港・展示場・集会場等)での宣伝協力(ポスター等の掲出・利用促進プロモーション等の実施)	自治体	○														
	エ. 旅行企画造成依頼(首都圏・関西圏の旅行者に対して花咲線を利用した商品企画を提案)	自治体	○														
	②閑散期の需要創出 ・「大人の休日倶楽部パス」を活用した花咲線利用促進の取組	JR北海道	—														
	③宣伝協力																
	ア. 札幌駅や新千歳空港駅等での宣伝協力(ポスター等の掲出・プロモーション等の実施)	自治体 JR北海道	○														
	イ. 管内各駅での宣伝協力 (ポスター・パンフ掲出及び地元PR活動)	JR北海道	○														
	④100周年事業の取り組み																
ア. 花咲線100周年記念ロゴ作成	JR北海道	◎															
イ. 花咲線各駅への装飾																	
ウ. 「花咲線全通100周年記念」入場券などの販売																	
エ. 周年記念2021(釧路駅の実施)																	
⑤「くしろ鉄道めぐり」インスタキャンペーンの実施	釧路総合振興局	◎															

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール													
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間					
							R1		R2		R3		R4		R5	
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
(4) 地域の皆様と連携した取組の推進	①観光資源の積極的な活用															
	ア. パンフレットやHPの作成連携	自治体	○													
	イ. 沿線自治体や観光協会等と連携したイベント等の企画・実施・協力 ・ヘルシーウォーキング (いつでもウォーク、根室駅・厚岸駅)	JR北海道 全自治体 その他	○													
	ウ. 特産品・グッズ等の企画・販売	JR北海道 その他	○													
	エ. 観光協会事業(町民向けツアー)で花咲線列車を利用した事業の実施	自治体 JR北海道	△													
	オ. 観光イベント開催時において列車発着にあわせた無料シャトルバスの運行 ・さんま祭り(根室市)	根室市 JR北海道	○													
②SNSでのJR企画等の情報発信	自治体 その他 JR北海道	—														
③厚床中学生によるすずらん贈り	その他 JR北海道	○														
⑤鉄道を利用した長期滞在者との交流事業	自治体	○														





II. 経費節減

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール													
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間					
							R1		R2		R3		R4		R5	
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
(1) 設備の見直しやスリム化によるコスト削減	①当社の行き届かない取組に対するご協力															
	ア 駅前広場の除雪 ※別保駅、厚岸駅、茶内駅、浜中駅、厚床駅、根室駅	自治体	○													
	イ 駅舎内トイレ清掃 ・厚床駅 ・浜中駅、姉別駅	自治体	○													
(2) コストダウンの取組に対するご理解	①極端にご利用の少ない駅の廃止についての各自治体との協議 (協議は各自治体と個別に行う)	全自治体 JR北海道	○													
	②極端にご利用の少ない踏切の見直しについての各自治体との協議 (協議は各自治体と個別に行う)	全自治体 JR北海道														
	ア 冬季閉鎖		○													
	イ 踏切廃止		—													
	③ご利用の少ない駅トイレの利用停止についての各自治体との協議	関係自治体 JR北海道	○													

Ⅲ. その他

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール															
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間							
							R1		R2		R3		R4		R5			
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期				
(1) あるべき交通体系について	①あるべき交通体系について地域の皆様と検討の開始	全自治体 北海道 JR北海道 その他	—															
	②2次交通と連携に向けた検討 鉄道とバスの連携による相互に成り立つ仕組み作りに向けた検討の開始	全自治体 北海道 JR北海道 その他	—															
(2) 中長期的な駅の活用策についての検討	駅の活用策の検討 ・駅をリノベーションし、地域の皆様に自由に使って頂き、駅を活用することの検討	自治体 JR北海道	—															
(3) 街づくりについての検討	釧路駅都心部まちづくりの検討	自治体 北海道 JR北海道 その他	○															
(4) その他地域の皆様と一体となった取組	相互連携の検討	全自治体 北海道 JR北海道	—															

**アクションプラン**  
**第2期計画2年目報告書**  
**(令和4年度)**  
**石北線**

---

**令和5年8月**

**石北線アクションプラン実行委員会**

# 1. はじめに

---

- **本報告書は、令和3年4月16日に公表されたアクションプラン第2期計画2年目の取組状況について、石北線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **第2期計画2年目は、新型コロナウイルスの影響を引き続き受けたが、感染拡大防止に最大限留意しながら、線区を活性化するためアクションプランの推進に取り組んだ。**
- **本検証とともに、JR北海道と地域の関係者が連携して実施している調査・実証事業の結果を踏まえて、令和5年度内に行う総括的な検証につなげていく。**

## 2. 基本指標・関連指標の検証

### 基本指標の概況

- ・線区別収支は、▲4,849百万円となり基準とした平成29年度より606百万円下回った。

営業収益は、石北線全通90周年ツアーや記念イベント等に取り組んだほか、緊急事態宣言等による行動制限が緩和されたことから利用が一部回復したことで、対前年201百万円増加した835百万円（対前年132%）となった。

営業費用は車両の減価償却費が減少した一方、動力費が増加したこと等により、対前年229百万円増加した5,683百万円（対前年104%）となった。

線区別収支は結果として対前年▲30百万円となった。

- ・輸送密度は525人/日となり基準とした平成29年度より366人/日下回った。

#### ▼令和4年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和4年度 (実績)	対目標	目標 達成
線区別収支	▲4,243百万円	▲4,849百万円	▲606百万円	未達成
輸送密度	891人/日	525人/日	▲366人/日	未達成

### 3. 具体的取組の検証



#### (1) 進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、目標達成「◎」が7%、達成見込「○」が88%、未評価「－」が5%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。

##### ▼令和4年度アクションプラン進捗状況



進捗状況	件数	割合	コメント
◎	6	7%	「石北本線全線開通90周年記念企画」等の項目において目標達成。
○	77	88%	「地元住民との懇談会・シンポジウム・意見交換会等の実施」や列車利用の「えきをめぐるなぞときのたび」、「ミステリートレイン」や地域の皆様と連携した「HOKKAIDO LOVE! ひとめぐり号」の賑やかし等の項目において達成見込。
△	0	0%	
－	5	5%	「リーフレットの作成」等の項目において未評価。
合計	88	100%	

## 4. 令和4年度象徴的な取組について①

取組内容	取組状況等		目標達成
<p>(1)「遠軽駅前階段の絵画塗り直し」の実施</p>	<p>遠軽駅前階段に画かれている遠軽町の花「コスモス」の絵画の塗り直しを、遠軽商工会議所がボランティアを募り6月22日・23日の2日間で実施しました。</p>	 <p>(遠軽駅)</p>	○
<p>(2)地域の皆様による「特急列車内での特産品販売」の実施</p>	<p>沿線地域の特産品をお客様にお楽しみいただくため、6月4日から9月25日までの週末を中心に地域の皆様が特急列車で車内販売を実施しています。 6月26日には北見市長が乗車して石北線のPRと特産品のハッカ飴のプレゼントを実施しました。</p>	 <p>(6月26日撮影)</p>	○





## 4. 令和4年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(3)「THE ROYAL EXPRESS」のおもてなし実施</p>	<p>「THE ROYAL EXPRESS」が8月～9月に運行されました。沿線地域の皆様や自治体の職員、ご当地キャラクター等が横断幕や小旗でお出迎え・お見送りをしたほか、特産品販売、ダンスを披露するなどのおもてなしを実施しました。</p>	 <p>(8月7日撮影・北見駅)</p> <p style="text-align: center;">○</p>
<p>(4)石北線全通90周年バックヤードツアーの実施</p>	<p>北見市は、9月19日、石北線全通90周年の取組として、「JR石北本線バックヤードツアー」を実施しました。鉄道を支える保線の日常業務や災害の発生状況とその対策等について、北見駅～上川駅間の車内等でパネルにより説明し、参加者に保線業務の理解を深めていただきました。</p>	 <p>(9月19日撮影・北見駅/北見駅～上川駅間車内)</p> <p style="text-align: center;">○</p>

## 4. 令和4年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(5)石北線全通90周年イベントの実施</p>	<p>石北線全通90周年イベントとして10月1日(土)に、旭川駅に旭川市、当麻町、愛別町及び上川町のご当地キャラクターを一同に集めてクイズ大会などを実施しました。</p> <p>また、遠軽町石北本線利用促進協議会が遠軽駅で太鼓演奏やキッチンカーマルシェを開催し石北線のPRを図りました。</p> <div data-bbox="1294 475 1850 858" data-label="Image"> </div> <p>(10月1日撮影・旭川駅・遠軽駅)</p>	<p>○</p>
<p>(6)石北本線全通90周年シンポジウムの開催</p>	<p>オホーツク圏活性化期成会石北本線部会は11月29日にシンポジウム「石北本線の維持・存続に向けて」を開催しました。</p> <p>道内交通の課題やこれまでの鉄道利用促進の取組についての報告、鉄道を維持するための方策などの講演が行われました。</p> <div data-bbox="1420 948 1700 1350" data-label="Image"> </div>	<p>○</p>

## 4. 令和4年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(7)留辺蘂駅 開駅110周年記念ポスター完成と除幕式</p>	<p>留辺蘂町在住のミントマジシャンクラブは、2月10日に開駅110周年を迎えた留辺蘂駅に感謝し利用者が明るい気持ちになれるようにと、北見市在住の漫画家にイラストを依頼して完成したポスターを駅舎待合室に掲出し除幕式を行いました。</p>	 <p>(2月10日撮影・留辺蘂駅)</p> <p style="text-align: center;">○</p>
<p>(8)183系特急のお見送り・283系特急ラッピング車両の運行開始</p>	<p>3月17日でキハ183系特急オホーツク・大雪の定期運転が終了となることから、網走駅で網走市の皆様が横断幕によるお見送りを行いました。 また、3月18日から石北線の特急停車駅が所在する7自治体にまつわるラッピングを施した283系車両が運行を開始しました。</p>	 <p>(3月17日撮影・網走駅/283系車両)</p> <p style="text-align: center;">○</p>

## 5. 令和4年度取組の検証

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大に最大限留意しながら、JR北海道と地域の皆様が一体となってアクションプランを推進することにより、石北線を活性化するために取り組む機運の醸成がなされた。
- ・ 運賃等への助成制度を設け都市間輸送の利用促進の取り組みや石北線全通90周年ツアーや記念イベント等に取り組んだ。
- ・ 「HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号」や「THE ROYAL EXPRESS」の観光列車が運行した際に、沿線地域の皆様による歓迎セレモニーや車内販売等のおもてなしを実施し、石北線をPRした。
- ・ 新型コロナウイルスの影響により、基準とした平成29年度の目標値に対して、線区収支は▲606百万円、輸送密度は▲366人/日となり、目標は未達成にある。
- ・ 今後においても、引き続き観光線区の強みを生かした取り組みを行うとともに、経費節減をより一層推進し、挽回施策などにより線区収支改善を図る。



1. 共通

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
							R1		R2		R3		R4		R5		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
エ. 公共交通ご当地キャラクターイベントパンフレット等への掲載、グッズの作成・配布	自治体	○															
オ. 利用促進パネル展の実施	自治体	○															
カ. 鉄道施設見学ツアーの実施	自治体	○															
⑥リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革期間の内容等について利用者にご理解いただく資料の作成	JR北海道	—															
⑦鉄道施設見学会などの際にJR社員から線区に関する説明の実施※	JR北海道	○															
⑧マイレール運動の提唱	自治体	○															

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

1. 共通

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール															
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間							
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5			
							上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(4) 他の交通機関等との連携	①バス等との相互連携の推進	自治体 JR北海道	○															
	②イベント時の駅からの無料シャトルバスの運行※	自治体	○															
(5) 拠点としての駅の活用	①駅前の整備	自治体 JR北海道	○															
	ア. 駅前広場での乗り継ぎ環境向上、案内強化の継続																	
	②駅の活用	自治体 JR北海道 その他	○															
	ア. 駅舎の待合環境の向上																	
	イ. 駅の空きスペースの利活用	自治体	○															
	ウ. 駅クリスマスツリー飾り付け	自治体 (追加)	○															
	エ. 鉄道写真パネル展	自治体 (追加)	◎															
	③駅を中心とした街にぎわい創出の検討	自治体	○															
	ア. 駅周辺のスペースを活用した誘客事業※																	
	イ. 駅周辺整備によるにぎわいと明るさあふれるまちづくりの創出※	自治体	○															
	④駅舎周辺の環境整備 公区及び高校生、町による環境整備の実施※	自治体 その他	○															
⑤駅前広場駐車場との連携による利用 環境向上 ・駅前広場駐車場の割引実施※	自治体 JR北海道	○																
(6) 当社の行き届かない取組に対するご協力	①駅での観光案内、外国人通訳の確保 等	自治体 JR北海道 その他	○															
	ア. 駅での観光案内の取り組み																	

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

1. 共通

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール													
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間					
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5	
							上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(7) 全道利用促進取組との連携	①北海道鉄道活性化協議会との連携															
	ア. 公共交通の利用促進に向けた道民運動の展開	○														
	イ. 鉄道をはじめとする公共交通利用者の拡大 (乗車に繋がる施策の展開)	○														
	・道民の利用拡大 ・観光客の利用拡大 ・利用促進に向けた地域の取組との連携															
	ウ. 本道における鉄道網の重要性や地域の取組等の全国への発信	○														
エ. 感染症により失われた公共交通需要の回復	○															

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組



2. 生活利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5		
							上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) お客様サービスの向上	①「スマホ定期券」の活用																
	ア. 利用実態の把握	JR北海道	○														
	イ. 「スマホ定期券」の利用者増加に向けた取り組み	JR北海道	○														
	②大規模輸送障害発生時の運行情報等の内容充実	JR北海道	○														
(2) 公共交通の利用促進	①行事等での鉄道利用の促進																
	ア. 行事等で鉄道を利用した際のJR乗車運賃等への助成																
	①通学定期の助成	自治体	○														
	②団体利用の助成※	自治体	○														
	③JR乗車運賃等への助成※	自治体	○														
	イ. 行事等での鉄道利用の呼びかけ	自治体	○														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール													
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間					
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5	
							上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
(1) 道内外から石北線にお越しいただくための取組	①商品造成やキャンペーンの実施航空会社と連携した利用促進															
	ア. JAL/JR北海道 ひがし&きた北海道キャンペーンの実施	JR北海道	○													
	イ. LCCとタイアップしたフリーパスの設定	JR北海道	○													
	②お客様のご利用の少ない閑散期の需要創出 ・フリーパスを活用した石北線利用促進の取組	JR北海道 その他	○													
	③宣伝協力 ・駅等での宣伝協力	自治体 JR北海道 その他	-													
	④鉄道利用旅行者への助成制度の導入※	自治体	○													
	⑤民間団体等による利用促進活動 に対する支援	自治体	○													
	⑥観光列車「流水物語号」の運転 ・流水物語号の魅力向上に向けた取組	自治体 JR北海道 その他	○													
	⑦施設巡りバスによる着地型観光交通の取り組み	自治体 その他	○													
⑧オンデマンドバスの観光利用とシームレス交通の検討 (駅、バスターミナル、観光地・施設等の連携)	自治体	○														
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	①沿線や周辺地域にお住まいの皆様にお出かけを呼びかけ															
	ア. ヘルシーウォーキングの実施	自治体 JR北海道 その他	○													
	イ. ご当地キャラクターによる乗車 イベントの実施※	自治体 JR北海道	○													
	ウ. 鉄道施設を利用した乗車イベントの実施※	自治体 JR北海道	○													

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5		
							上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
エ. 鉄道周辺施設等の情報提供による鉄道利用の働きかけ	北海道	○															
オ. 市内のえきをめぐるなぞときのたび※ (追加)	自治体	○															
カ. ミステリートレイン (追加)	自治体	○															
②地域のお祭りやイベント等の告知などによる鉄道利用促進																	
ア. 駅前広場のイベント活用による賑わいの創出※	自治体 その他	○															
イ. 駅舎のイベント活用による賑わいの創出※	自治体 その他 JR北海道	○															
ウ. 地域イベントへの列車来場の誘引※	自治体 JR北海道	—															
③観光資源の積極的な活用																	
ア. 新聞広告等を活用した鉄道利用のPR	自治体	○															
イ. 鉄道利用のPRポスター・パンフレット作成・配布	自治体	○															
ウ. 鉄道カレンダーの作成	自治体	○															
エ. フォトギャラリーコンテスト	全自治体	◎															
④パンフレットやHPの作成連携																	
ア. JR路線案内も含めた観光案内の実施※ HP, パンフレット等への掲載, 旅行代理店等への利便性のPR	自治体	○															

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5		
							上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
⑤特急列車内の特産品販売※ ・石北線における実施	全自治体 JR北海道 その他	○															
⑥サイクリング観光客への鉄道利用PR	自治体 その他	○															
⑦市民団体等による賑わいの創出に対する助成	自治体 その他	○															
⑧「THE ROYAL EXPRESS」運行に伴う賑やかしの実施。※	自治体 JR北海道	○															
⑨「HOKKAIDO LOVE! ひとめぐり号」運行に伴う 賑やかしの実施。※ (追加)	自治体 JR北海道	○															
⑩駅舎オープン周年記念企画 (追加)	自治体 JR北海道	○															
⑪「いまこそ輝け! 北のキハ183系」キャンペーン企画 (追加)	自治体 JR北海道	○															
⑫「石北本線全線開通90周年記念企画」 お披露目運転と賑やかしの実施。※ (追加)	自治体 北海道 JR北海道	◎															
⑬261系5000代ラベンダー編成「HOKKAIDO LOVE!」 お披露目運転と賑やかしの実施。※ (追加)	全自治体 JR北海道	◎															

4. 広域交通

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5		
							上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 出張や学校行事、都市間 移動等での鉄道利用	①官公庁、城内事業所等による出張等での 鉄道の利用の促進	全自治体 その他	○														
	②学校行事等での鉄道利用促進 ア. 修学旅行、合宿等におけるJR 利用の呼びかけ	自治体	○														
	イ. 課外活動等におけるJR利用の 呼びかけ	自治体	○														
	③えきねっとトクだ値による需要や動向を 踏まえた割引の設定	JR北海道	○														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

II. 経費節減

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5		
							上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮	①業務委託の実施の検討	全自治体 JR北海道 その他	○														
	②当社の行き届かない取組について自治体側での実施の検討	全自治体 JR北海道 その他	○														
(2) コストダウンの取組に対するご理解	①ご利用の少ない駅の見直し ※令和3年度より自治体による維持管理する駅	自治体 JR北海道	○														
	②ご利用の少ない踏切の見直し	自治体 JR北海道	—														
	③中長期的な視点に立った設備スリム化の可能性について検討	全自治体 JR北海道	○														

III. その他

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5		
							上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) あるべき交通体系について徹底的な検討	①あるべき交通体系について地域の皆様と検討	全自治体 北海道 JR北海道 その他	—														
	②2次交通との連携に向けた検討																
	ア.鉄道とバスの連携による相互に成り立つ仕組み作りに向けた検討	自治体 北海道 JR北海道	◎														
	イ.地域公共交通計画の策定	自治体	◎														
	ウ.地域公共交通会議等の活用及び推進	自治体 JR北海道	○														
(2) 鉄道施設を維持するための取組の検討	①中長期的に鉄道施設を維持するため、集中工事等を実施する仕組み作りを関係自治体と協議し行う。	全自治体 北海道 JR北海道	○														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

**アクションプラン**  
**第2期計画2年目報告書**  
**(令和4年度)**  
**宗谷線**

---

**令和5年8月**

**宗谷線アクションプラン実行委員会**

# 1. はじめに

---

- **本報告書は、令和3年4月16日に公表されたアクションプラン第2期計画2年目の取組状況について、宗谷線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **第2期計画2年目は、新型コロナウイルスの影響を引き続き受けたが、感染拡大防止に最大限留意しながら、線区を活性化するためアクションプランの推進に取り組んだ。**
- **本検証とともに、JR北海道と地域の関係者が連携して実施している調査・実証事業の結果を踏まえて、令和5年度内に行う総括的な検証につなげていく。**

## 2. 基本指標・関連指標の検証

### 基本指標の概況

- ・線別収支は、▲5,861百万円となり基準とした平成29年度より297百万円下回った。  
営業収益は行動制限が緩和されたことにより、対前年139百万円増加した783百万円（対前年122%）となった。  
営業費用は動力費が増加した一方、橋梁等の修繕や車両の減価償却費が減少したことにより、対前年25百万円減少した6,644百万円（対前年99.6%）となった。  
線別収支は結果として対前年+163百万円となった。
- ・輸送密度は、名寄・稚内間で209人/日（対基準▲143人/日）となり、旭川・名寄間で972人/日（対基準▲480人/日）となった。

#### ▼令和4年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和4年度 (実績)	対目標	目標 達成
線別収支	▲5,564百万円	▲5,861百万円	▲297百万円	未達成
輸送密度 (名寄～稚内)	352人/日	209人/日	▲143人/日	未達成
輸送密度 (旭川～名寄)	1,452人/日	972人/日	▲480人/日	未達成



### 3. 具体的取組の検証


#### (1) 進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、目標達成「◎」が9%、達成見込み「○」が74%、一部達成「△」が1%、未評価「－」が16%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。

##### ▼令和4度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
「◎」	10	9%	花たびそうや号地域のおもてなし実施、子ども鉄道乗車体験の実施
「○」	87	74%	利用実態調査の実施、広報誌等による鉄道利用の呼びかけ
「△」	1	1%	園児列車乗車体験
「－」	19	16%	「リーフレットの作成」等の項目において未評価
合計	117	100%	



## 4. 令和4年度象徴的な取組について①

取組内容	取組状況等		目標達成
<p>(1)「花たびそうや」号地域のおもてなしの実施</p>	<p>新型コロナの影響で運行開始を延期していた「花たびそうや」号を5月14日から6月5日までの土・日曜日に運行しました。宗谷線各停車駅では、地域の皆様にお出迎え、お見送り、特産品販売、観光アナウンス等のおもてなしを行っていただきました。</p>	 <p>(令和4年5月14日旭川駅・6月14日士別駅撮影)</p>	<p>○</p>
<p>(2)地域と一体となった「稚内駅新駅10周年記念イベント」の実施</p>	<p>4月29日稚内駅で「稚内駅新駅10周年記念イベント」が開催されました。稚内市も「パネル展示会」を実施、またイベント当日は「りんぞうくん、出汁之介」も参加し、地域と一体となったイベントを実施することができました。</p>	 <p>(令和4年4月29日撮影・稚内駅)</p>	<p>◎</p>



## 4. 令和4年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(3) ぴっぷ駅マルシェの開催</p>	<p>比布町は、9月18日、比布駅前広場の賑わいを創出するとともに、比布町自慢の食を町内外へ発信する「ぴっぷ駅マルシェ」を3年ぶりに開催しました。また、JRでの来場者にオリジナルグッズをプレゼントしました。</p> <div data-bbox="1283 475 1556 869" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1563 534 1870 858" data-label="Image"> </div> <p>(令和4年9月18日撮影:比布駅)</p>	<p>○</p>
<p>(4) 住民限定貸切列車の運行</p>	<p>幌延町、中川町、音威子府村の3町村は、9月23日～24日に、宗谷線の魅力の再発見と鉄道の楽しさを体験していただくため、沿線住民限定の貸切列車「宗谷線の魅力を再発見しよう!」を運行しました。</p> <div data-bbox="1272 938 1653 1225" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1572 1072 1870 1295" data-label="Image"> </div> <p>(令和4年9月23日撮影・名寄駅/音威子府駅)</p>	<p>◎</p>

## 4. 令和4年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(5)子ども鉄道乗車体験の実施</p>	<p>宗谷総合振興局は、10月15日・29日の2日間、「公共交通に乗ろう！学ぼう！～子ども鉄道乗車体験」を実施しました。管内市町村在住の小学生66名が稚内駅～幌延駅間を特急列車に乗車しました。</p>	 <p>(令和4年10月15日撮影稚内駅・幌延駅)</p> <p style="text-align: center;">○</p>
<p>(6)ひとめぐり号のお出迎え・お見送り</p>	<p>「HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号」が10月8日に宗谷線を運行しました。沿線の皆様によるお出迎え・お見送りを実施し、列車内や駅のホームでは、はちみつ、クラフトビールなど特産品販売を行いました。</p>	 <p>(令和4年 10月8日撮影・天塩中川駅/士別駅)</p> <p style="text-align: center;">○</p>

## 4. 令和4年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等	目標達成	
<p>(7) 宗谷線ステーションカードの配布</p>	<p>宗谷本線活性化推進協議会は、12月21日～3月31日までの期間、駅の概要や駅周辺の観光地等を掲載した12駅のオリジナルカードを宗谷線の利用者を対象に配布することにより、宗谷線の利用促進と沿線地域の魅力発信を図りました。</p>	 <p>(ポスター・ステーションカード見本)</p>	○
<p>(8) JR乗り方講座の実施</p>	<p>旭川市は、3月29日に鉄道に関心を高めてもらう取り組みとして、「JRの乗り方講座」を旭川駅で実施しました。参加した17名は、きっぷの買い方やH100形車両の乗り方などを学習しました。</p>	 <p>(3月29日撮影・旭川駅)</p>	○

## 5. 令和4年度取組の検証

- ・新型コロナウイルス感染拡大に最大限留意しながら、JR北海道と沿線自治体等が一体となってアクションプランに取り組み、効果をあげることができた。
- ・新型コロナの影響で延期していた「花たびそうや」号を運行し、各停車駅で地域の皆様がお出迎えや特産品販売等の取り組みを行った。
- ・鉄道に親しんでもらう周年記念イベント、住民限定貸切列車、子ども鉄道乗車体験等を実施し、沿線地域と連携した取り組みを行った。
- ・昨年4月より引き続き、ご利用の少ない16駅について沿線自治体から管理のための費用や人的な提供をいただき、線区の経費節減に取り組んだ。
- ・新型コロナウイルスの影響により、基準とした平成29年度の目標値に対して、線区収支は▲297百万円、旭川～名寄972人／日(▲480人／日)、名寄～稚内209人／日(▲143／日)となり、両区間とも目標は未達成にある。
- ・今後においても、沿線自治体等と連携した取り組みを行うとともに、利用促進や経費節減を推進し、線区収支改善を図る。









1. 共通

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
							R1		R2		R3		R4		R5		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(5) 拠点としての駅の活用	④駅の活用																
	ア. 駅の一部を移住促進の相談コーナーとして使用	自治体 JR北海道	○														
	イ. 駅の未使用空間の利活用	自治体	—														
	ウ. 駅舎の待合環境の向上	自治体 JR北海道 その他	○														
(6) 当社の行き届かない取組に対するご協力	⑤駅の利便性の向上																
	ア. 駅前トイレの設置	自治体	○														
(7) その他地域の皆様と一体となった取り組み	①駅での観光案内、外国人通訳の確保、きっぷの販売等																
	ア. 駅におけるきっぷ販売	自治体 JR北海道	○														
(8) 全道利用促進取組との連携	①協議会等での取り組み	全自治体 JR北海道 その他	—														
	①北海道鉄道活性化協議会との連携																
	ア. 公共交通の利用促進に向けた道民運動の展開		○														
	イ. 鉄道をはじめとする公共交通利用者の拡大 (乗車に繋がる施策の展開) ・道民の利用拡大 ・観光客の利用拡大 ・利用促進に向けた地域の取組との連携	全自治体 北海道 JR北海道	○														
	ウ. 本道における鉄道網の重要性や地域の取組等の全国への発信		○														
	エ. 感染症により失われた公共交通需要の回復		○														
オ. 子ども鉄道体験ツアー (追加)		○															
カ. 定期列車の観光利活用の取り組み	自治体	○															

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

2. 生活利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
							R1		R2		R3		R4		R5		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) お客様サービスの向上	①大規模輸送障害発生時の運行情報等の内容充実 ・ホームページでの運行情報の充実 ・外国語での運行情報の充実	JR北海道	○														
	②駅移設による利便性の向上 (追加)	JR北海道	◎														
(2) 公共交通の利用促進	①鉄道利用促進のための補助制度等の検討および導入																
	ア. 高齢者へのJR回数券の交付	自治体	○														
	イ. 高校通学生への通学補助	自治体	○														
	ウ. JR乗車運賃等への助成	自治体	○														
	エ. 市民限定ツアーの実施 (追加)	自治体	◎														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール															
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間							
							R1		R2		R3		R4		R5			
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 道内外から宗谷線にお越しいただくための取組	①商品造成やキャンペーンの実施 ・LCCとタイアップしたフリーパスの設定 ・「ANAふるさと納税&きた北海道の返礼品の魅力を手パンダ編成に乗って満喫しよう」の設定	JR北海道 自治体	○															
	②お客様のご利用の少ない閑散期の需要創出 ・フリーパスを活用した宗谷線利用促進の取組	JR北海道 その他	○															
	③宣伝協力 ・駅等での宣伝協力※	JR北海道 自治体 その他	○															
	④観光列車「花たびそらや」運転による地域と一体になったおもてなし、賑やかしの取組※	JR北海道 全自治体 その他	○															
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	①沿線や周辺地域にお住まいの皆様を対象としたお出かけの呼びかけ																	
	ア. 地域住民を対象とした日帰り旅行の実施	自治体	○															
	イ. 町民乗車票販売による利便性確保	自治体 JR北海道	○															
	ウ. ヘルシーウォーキングの実施	自治体 JR北海道 その他	○															
	②地域のお祭りやイベント等を活用した鉄道利用促進																	
	ア. 友好都市との各種イベントでのPR※	自治体	○															
	イ. 駅等におけるイベントの実施	自治体	○															
	ウ. 駅前広場のイベント活用※	自治体 その他	○															
	エ. 駅マルシェの開催※	自治体	○															
	オ. イベント時のJR利用者に対する特産品プレゼント※	自治体	○															
	カ. さっぽろオータムフェストほか地域外イベントでの宗谷線PR※	自治体	○															
	キ. 鉄道関連イベントの実施による鉄道利用促進の取り組み※	自治体	○															

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
							R1		R2		R3		R4		R5		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	ク. 駅舎内交流スペースを活用した地域住民(実行委員会)によるイベントの実施※	自治体	○														
	ケ. 駅舎のイベント活用※ 駅マルシェの開催、パネル展実施	自治体 JR北海道	○														
	コ. 駅前まつりの実施 (追加)	自治体	○														
	③観光資源の積極的な活用																
	ア. 駅舎や車両を題材とした絵画コンクール等の実施	自治体	—														
	イ. 駅保存のための「ふるさと納税」創設、保全イベントの実施	自治体 JR北海道	○														
	ウ. 冬季における鉄道沿線での撮影者に対するマナー啓発及び沿線PR活動	自治体	○														
	エ. 宗谷本線や沿線写真展の開催※	自治体	○														
	オ. 沿線観光名所の整備及び名所を活用したイベントの開催	自治体 JR北海道	○														
	カ. サイクリング観光客への鉄道利用PR	自治体 その他	○														
	キ. 新聞広告等を活用した鉄道利用のPR	自治体	○														
	ク. 鉄道利用のPRポスター・パンフレット作成配布	自治体	—														
	ケ. 駅開駅10周年、100周年記念企画の実施	自治体 JR北海道	◎														
	コ. 宗谷線をテーマとしたツアーイベント※ (追加)	自治体	—														
	サ. 市内のえきをめぐるなぞときのたび (追加)	自治体	○														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間								
							R1		R2		R3		R4		R5				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	シ. JR宗谷線で行く「子ども体験学習ツアー」 (追加)	自治体	◎																
	④パンフレットやHPの作成連携																		
	ア. イベントパンフレットや観光案内パンフレットによるJR利用の呼びかけ	自治体	○																
	イ. 観光パンフレットで町内各駅紹介	自治体	○																
	ウ. 秘境駅キャラクター利活用(名刺・ラインスタンプ等)	自治体	○																
	エ. ホームページによる情報発信	自治体	○																
	⑤宗谷線を組み入れた旅行会社等と協力したイベント等の企画・実施																		
	ア. 利用促進等市民ツアーの実施	自治体	○																
	⑥特産品・グッズ等の企画・販売																		
	ア. 地元限定宗谷本線グッズの販売およびふるさと納税返礼品化	自治体	○																
	イ. 駅PRグッズ販売、ふるさと納税返礼品化	自治体	○																
	ウ. 鉄道利用促進記念証等制作販売	自治体	○																
	エ. 地元限定宗谷本線グッズの販売	自治体	○																
	オ. 宗谷本線グッズのふるさと納税返礼品化 (追加)	自治体	○																
	⑦特急列車内の特産品販売・宗谷線における継続実施※	自治体 JR北海道 その他	-																
	⑧サイクリング観光客への鉄道利用PR	自治体 その他	○																
⑨駅新駅舎グランドオープン周年記念企画 (追加)	自治体 JR北海道	◎																	

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

4. 広域交通

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
							R1		R2		R3		R4		R5		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 出張や都市間移動等での鉄道利用	①官公庁における出張時の鉄道利用の取り組み																
	・出張時の鉄道利用促進	自治体	○														
	②学校行事等での鉄道利用促進 課外活動等におけるJR利用の呼びかけ	自治体	○														
	③えきねっとトクだ値による需要や 動向を踏まえた割引の設定	JR北海道	○														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

II. 経費節減

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
							R1		R2		R3		R4		R5		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 業務の一部をお願い することによる経費 圧縮	①業務委託の実施	自治体 JR北海道	○														
	②業務委託のご相談	自治体 JR北海道 その他	—														
	③業務のお手伝いのお願い	自治体 JR北海道 その他	—														
	④当社の行き届かない取組に対するご協力	自治体 JR北海道 その他	○														
	⑤駅舎、待合室の自治体等による維持管理	自治体	○														
(2) コストダウンの取組 に対するご理解	①ご利用の少ない駅の見直し	自治体 JR北海道	○														
	②駅廃止に伴う企画実施  (追加)	自治体	◎														
	③ご利用の少ない踏切の見直し	自治体 JR北海道	—														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組



Ⅲ.その他

取組内容		事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
				H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
								R1		R2		R3		R4		R5		
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) あるべき交通体系について徹底的な検討	①さらに利用されるダイヤの構築の研究	自治体 JR北海道 その他	—															
	②2次交通との連携に向けた検討	自治体 JR北海道	○															
(2) 中長期的な利用促進策についての検討	①中長期的な視点に立った利用促進の可能性についての検討	自治体 JR北海道 その他	—															
(3) 中長期的な経費節減策についての検討	①中長期的な視点に立った設備スリム化の可能性についての検討	自治体 JR北海道	—															
(4) 客貨混載の実施	①継続実施	JR北海道 自治体 その他	○															

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

**アクションプラン**  
**第2期計画2年目報告書**  
**(令和4年度)**  
**富良野線**

---

**令和5年8月**

**富良野線アクションプラン実行委員会**

# 1. はじめに

---

- **本報告書は、令和3年4月16日に公表されたアクションプラン第2期計画2年目の取組状況について、富良野線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **第2期計画2年目は、新型コロナウイルスの影響を引き続き受けたが、感染拡大防止に最大限留意しながら、線区を活性化するためアクションプランの推進に取り組んだ。**
- **本検証とともに、JR北海道と地域の関係者が連携して実施している調査・実証事業の結果を踏まえて、令和5年度内に行う総括的な検証につなげていく。**

## 2. 基本指標・関連指標の検証

### 基本指標の概況

- ・線区別収支は、▲1,132百万円となり基準とした平成29年度より134百万円下回った。  
営業収益は「富良野・美瑛ノロッコ号」など観光列車の利用促進に取り組んだほか、緊急事態宣言等による行動制限が緩和されたことから利用が一部回復したことで、対前年55百万円増加した296百万円（対前年123%）となった。  
営業費用は、駅設備等の修繕や動力費が増加したことにより、対前年86百万円増加した1,428百万円（対前年106%）となった。  
線区別収支は結果として対前年▲31百万円となった。
- ・輸送密度は1,053人/日となり基準とした平成29年度より544人/日下回った。

#### ▼令和4年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和4年度 (実績)	対目標	目標 達成
線区別収支	▲998百万円	▲1,132百万円	▲134百万円	未達成
輸送密度	1,597人/日	1,053人/日	▲544人/日	未達成

# 3. 具体的取組の検証



## (1) 進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、目標達成「◎」が8%、達成見込「○」が79%、未評価「-」が13%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。



### ▼令和4年度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
◎	5	8%	地域の皆様と連携した261系5000代ラベンダー編成「HOKKAIDO LOVE! FURANO号」お披露目運転の賑やかし等の項目において目標達成。
○	52	79%	「鉄道写生コンクールの実施」や「鉄道施設見学ツアーの実施」等の項目において達成見込。
△	0	0%	
-	9	13%	「リーフレットの作成」等の項目において未評価
合計	66	100%	



# 4. 令和4年度象徴的な取組について①

取組内容	取組状況等	目標達成	
<p>(1)「富良野・美瑛ノロッコ号」運転初日のおもてなし実施</p>	<p>富良野・美瑛ノロッコ号運転初日の6月11日に沿線の駅で、太鼓の演奏やラベンダーポップリのプレゼントを行うなど地域の皆様とご当地キャラクターによるお出迎えとお見送りのおもてなしを実施しました。</p>	 <p>(6月11日撮影・上富良野駅)</p>	<p>○</p>
<p>(2)「JR富良野線フォトコンテスト」の実施</p>	<p>JR富良野線連絡会議は、6月11日から9月30日まで富良野線の列車や駅、車窓からの写真を募集して富良野線の魅力発信と利用促進を図るために「JR富良野線フォトコンテスト」を実施しています。</p>		<p>○</p>

## 4. 令和4年度象徴的な取組について②



取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(3)「えきをめぐるなぞときのたび」の実施</p>	<p>旭川市は、7月23日から9月30日まで、鉄道駅を知ってもらい、鉄道に親しみをもってもらうため、JRを利用して謎解きをしながら旭川市内の駅を巡る「えきをめぐるなぞときのたび」を実施しました。</p> 	<p>○</p>
<p>(4)「旭川駅&amp;運転所見学ツアー」の実施</p>	<p>JR富良野線連絡会議は、7月25日と8月13日に富良野線沿線の小学生を対象とした「旭川駅&amp;運転所見学ツアー」を実施しました。ツアーには全28組62名が参加しました。</p>  <p>(7月25日撮影・旭川運転所)</p>	<p>○</p>

## 4. 令和4年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等	目標達成	
<p>(5)「キハ150形ぬり絵」の展示</p>	<p>JR富良野線連絡会議は、鉄道への関心を高めるため、「150形車両のぬり絵」を沿線各市町で初めて募集しました。未就学児童が描いた185点のぬり絵を12月17日から25日まで旭川駅で展示しました。</p>	 <p>(12月17日撮影・旭川駅)</p>	<p>○</p>
<p>(6)「ひとめぐり号」のお出迎え・お見送り</p>	<p>「HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号」が10月8日に富良野線を運行しました。旭川駅、美瑛駅、上富良野駅、中富良野駅及び富良野駅で、ご当地キャラクターや太鼓演奏など地域の皆様によるお出迎え・お見送りを実施しました。</p>	 <p>(10月8日撮影・美瑛駅)</p>	<p>○</p>



# 4. 令和4年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(7)JRで行く「子ども体験学習ツアー」の実施</p>	<p>旭川市は、1月11日にJRで行く「子ども体験学習ツアー」を実施しました。参加者17名は旭川駅できっぷの買い方などを学び、旭川駅から美瑛駅までJRに乗車して、美瑛町の「国立大雪青少年交流の家」で七宝機づくりを体験し、富良野線の魅力を体験しました。</p>  <p>(1月11日撮影・美瑛駅・国立大雪青少年交流の家)</p>	<p>○</p>
<p>(8)新型車両の乗り方について広報誌に掲載</p>	<p>旭川市、美瑛町、上富良野町、中富良野町及び富良野市では、3月のダイヤ改正から富良野線に投入されたH100形の乗降方法について、広報誌で住民の皆様にはわかりやすく周知を行いました。</p>  <p>(美瑛町広報誌3月号掲載紙面)</p>	<p>○</p>

## 5. 令和4年度取組の検証

- ・新型コロナウイルス感染拡大に最大限留意しながら、JR北海道と地域の皆様が一体となってアクションプランを推進することにより、富良野線を活性化するために取り組む機運の醸成がなされた。
- ・「富良野・美瑛ノロッコ号」や「HOKKAIDO LOVE! ひとめぐり号」の運行に伴う賑やかしやおもてなしを地域の皆様が一体となって取り組みを行った。
- ・鉄道施設見学ツアーやJRで行く体験ツアーを実施して鉄道に親しんでいただく取り組みを実施して、地域の皆様の関心を高めた。
- ・新型コロナウイルスの影響により、基準とした平成29年度の目標値に対して、線区収支は▲134百万円、輸送密度は▲544人/日となり、目標は未達成にある。
- ・今後においても、引き続き観光線区の強みを生かした取り組みを行うとともに、経費節減をより一層推進し、挽回施策などにより線区収支改善を図る。

I. 利用促進

1.共通

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間								
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5				
(1) 利用実態調査	①統計値では把握したいお客様の層等を掌握するための実態調査実施※	JR北海道 自治体	○																
(2) 輸送サービスの向上	①限りある車両でどのようなダイヤがよいか地域の皆様と意見交換を実施	自治体 JR北海道	-																
(3) マイレール意識醸成	①通勤の際の鉄道を含めた公共交通利用促進																		
	ア. 市職員及び市内事業者のエコ通勤への取組	自治体 その他	○																
	イ. ノーカーデーに対する積極的な取組	自治体	○																
	②リーフレットの作成	JR北海道	-																
	線区の状況、利用のお願い、集中改革期間の内容等について利用者にご理解いただく資料の作成																		
	③鉄道施設見学会などの際にJR社員から線区に関する説明の実施※	JR北海道 自治体	○																
	④公共交通機関利用の呼びかけ																		
	ア. 広報誌等による鉄道利用の呼びかけ	全自治体	○																
	イ. イベント実施時のJR利用促進PR会場でのチラシ配布	自治体	○																
	ウ. 鉄道施設見学ツアー実施 JR子ども見学ツアー※	全自治体 JR北海道	○																
	エ. 地域住民向け特典付き沿線観光マップの作成・配布の継続	全自治体 その他	○																
	オ. ご当地キャラクターによる公共交通利用の呼びかけ ・ご当地キャラクターイベントパンフレット等への掲載、グッズの作成・配布	全自治体	○																
	カ. 利用促進パネル展の実施	自治体	○																
キ. H100形ラッピング車両一般公開の実施 (追加)	自治体 北海道 JR北海道	○																	

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組



1.共通

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール															
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間							
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5			
(6) 当社の行き届かない取組に対するご協力	①外国人への通訳対応 通訳の配置、通訳機器の導入	自治体	○															
(7) 全道利用促進取組との連携	①北海道鉄道活性化協議会との連携 ア.公共交通の利用促進に向けた道民運動の展開	全自治体 JR北海道	○															
	イ.鉄道をはじめとする公共交通利用者の拡大(乗車に繋がる施策の展開) ・道民の利用拡大 ・観光客の利用拡大 ・利用促進に向けた地域の取組との連携		○															
	ウ.本道における鉄道網の重要性や地域の取組等の全国への発信		○															
	エ.感染症により失われた公共交通需要の回復		○															

2.生活利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール															
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間							
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5			
(1) お客様サービスの向上	①大規模輸送障害発生時の運行情報等の内容充実	JR北海道	○															
(2) 公共交通の利用促進	①行事等での鉄道利用を呼びかけ ア.幼稚園、学校行事、自治会行事等	自治体	○															
	イ.利用促進協議会総会において利用促進 ※	自治体	○															
	②鉄道利用促進のための補助制度等の検討および導入																	
	ア.通学定期への補助	自治体	○															
	イ.JR乗車運賃等への助成 ※	自治体	○															

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール													
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間					
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5	
							上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
(1) 道内外から富良野線にお越しいただくための取組	①商品造成やキャンペーンの実施 航空会社と連携した利用促進															
	・富良野・美瑛/ロッコ号の運行 ・富良野・美瑛キャンペーンの実施 ・JAL/JR北海道 ひがし&きた北海道キャンペーンの実施 ・LCCとタイアップしたフリーバスの設定	全自治体 JR北海道 その他	○													
	②お客様のご利用の少ない閑散期の需要創出 ・フリーバスを活用した富良野線利用促進の取組	JR北海道	○													
	③発地側での宣伝協力 ア. 駅等での宣伝協力	自治体 JR北海道 その他	-													
	イ. 東京のアンテナショップでの沿線PR	自治体	◎													
④富良野線「音声ガイド」GPSアプリの実施	JR北海道	○														
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	①沿線や周辺地域にお住まいの皆様を対象としたお出かけを呼びかけ															
	ア. ヘルシーウォーキングの実施 ※	自治体 JR北海道 その他	○													
	イ. ご当地キャラクターによるイベントの実施	連絡会議 自治体 JR北海道	○													
	ウ. 市内のえきをめぐるなぞとときのたび ※ (追加)	自治体	○													
	エ. 鉄道施設を利用した乗車イベントの実施 (追加)	自治体	○													
	②地域のお祭りやイベント等を活用した鉄道利用促進															
ア. 駅舎内及び駅前広場のイベント活用による賑わいの創出 ※	自治体 JR北海道 その他	○														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール													
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間					
							R1		R2		R3		R4		R5	
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
③観光資源の積極的な活用																
ア. 鉄道フォト・鉄道動画コンテストの実施	全自治体 JR北海道	◎														
イ. 鉄道写真コンクールの実施	全自治体 JR北海道	○														
ウ. 特典付き沿線観光マップの作成・配布の実施	全自治体 その他	○														
エ. JR路線案内も含めた観光案内の実施 HP,パンフレット等への掲載,旅行代理店等への利便性のPR	自治体	○														
オ. 新聞広告等を活用した鉄道利用のPR ※	自治体	○														
カ. 鉄道利用のPRポスター・パンフレット作成・配布	自治体	○														
④町イベント等のポスターを駅舎に掲示	自治体 JR北海道	○														
⑤サイクリング観光客への鉄道利用PR	自治体 その他	○														
⑥261系5000代ラベンダー編成「HOKKAIDO LOVE! FURANO号」お披露目運転と賑やかしの実施。(追加)	自治体 JR北海道	◎														
⑦「富良野・美瑛ノロッコ号」運行初日の賑やかし(追加)	自治体 JR北海道	○														
⑧「HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号」企画(追加)	自治体 JR北海道	○														
⑨旭川駅新駅舎グランドオープン10周年記念企画(追加)	自治体 JR北海道	◎														

4. 広域交通

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール													
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間					
							R1		R2		R3		R4		R5	
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
(1) 出張や学校行事、都市間移動等での鉄道利用	①官公庁、城内事業所等による出張等での鉄道利用の促進	自治体 北海道	○													
	②学校行事等での鉄道利用促進	自治体	○													

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

II. 経費節減

取組内容		事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
				H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
								R1		R2		R3		R4		R5		
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
① 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮	①無人駅の管理 地域自治会等が管理している駅待合の管理の継続	自治体	○															
② 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮のご相談	①業務委託のご相談	全自治体 JR北海道 その他	-															
	②業務のお手伝いのお願い	全自治体 JR北海道 その他	-															
	③当社の行き届かない取組に対するご協力	全自治体 JR北海道 その他	○															
③ コストダウンの取組に対するご理解	①ご利用の少ない駅の見直し	自治体 JR北海道	-															
	②ご利用の少ない踏切の見直し	全自治体 JR北海道	-															
④ 中長期的な経費節減策についての検討	①中長期的な視点に立った設備スリム化の可能性について検討	全自治体 JR北海道	-															

III. その他

取組内容		事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
				H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
								R1		R2		R3		R4		R5		
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
① あるべき交通体系について徹底的な検討	①あるべき交通体系について地域の皆様と検討	全自治体 JR北海道 その他	-															
	②2次交通との連携に向けた検討 ・鉄道とバスの連携による相互に成り立つ仕組み作りに向けた協議 ア. 地域公共交通会議の活用																	
		自治体 JR北海道 その他	○															

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組



**アクションプラン**  
**第2期計画2年目報告書**  
**(令和4年度)**  
**根室線**

---

**令和5年8月**

**根室線アクションプラン実行委員会**

# 1. はじめに

---

- **本報告書は、令和3年4月16日に公表されたアクションプラン第2期計画2年目の取組状況について、根室線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **第2期計画2年目は、新型コロナウイルスの影響を受けたが、感染拡大防止に最大限留意しながら、線区を活性化するためアクションプランの推進に取り組んだ。**
- **本検証とともに、JR北海道と地域の関係者が連携して実施している調査・実証事業の結果を踏まえて、令和5年度内に行う総括的な検証につなげていく。**

## 2. 基本指標・関連指標の検証

### 基本指標の概況

#### ○滝川～富良野間

- ・線区別収支は▲1,103百万円となり、基準とした平成29年度より167百万円上回った。営業収益は87百万円（対前年28百万円、147%）、営業費用は1,190百万円（対前年27百万円、102%）となった。
- ・輸送密度は266人/日となり、基準とした平成29年度より162名/日下回った。

#### ○富良野～新得間

- ・線区別収支は▲696百万円となり、基準とした平成29年度より9百万円上回った。営業収益は26百万円（対前年5百万円、124%）、営業費用は681721百万円（対前年40百万円、106%）となった。
- ・輸送密度は53人/日となり、基準とした平成29年度より39名/日下回った。

#### ▼令和3年度基本指標の収支状況

区間	項目	平成29年度 (基準)	令和4年度 (実績)	対目標	目標 達成
滝川 ～ 富良野	線区別収支	▲1,270百万円	▲1,103百万円	167百万円	達成
	輸送密度	428人/日	266人/日	▲162人/日	未達成
富良野 ～ 新得	線区別収支	▲705百万円	▲696百万円	9百万円	—
	輸送密度	92人/日	53人/日	▲42人/日	—

### 3. 具体的取組の検証


#### (1) 進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、目標達成「◎」が2%、達成見込み「○」が71%、未評価「－」が27%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。



▼令和4度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
◎	1	2%	富良野・新得間のあるべき交通体系を決定した
○	36	71%	根室線PRショートムービーの作成など
△	0	0%	－
－	14	27%	新型コロナウイルスの影響で学校行事における鉄道利用の提案・呼びかけなどが中止された
合計	51	100%	



## 4. 令和4年度象徴的な取組について①

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(1) 芦別駅で流れるメロディーを作曲</p>	<p>星槎国際高校芦別学習センターの生徒が、芦別市と連携した授業の一環で、芦別駅で列車の到着案内の際などに流すメロディーを4曲作曲し、5月16日から使用開始しました。</p>	 <p>(5月16日撮影 芦別駅)</p> <p style="text-align: center;">○</p>
<p>(2) 根室線PRショートムービーの作成</p>	<p>根室本線対策協議会は、根室線の認知度向上と来訪機会を創出する取組として、令和2年度製作の「根室線PR動画」を活用したショートムービーを作成しました。短時間で根室線の魅力が詰まった動画に編集し配信しています。</p>	 <p style="text-align: center;">○</p>

## 4. 令和4年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(3) 夏休み期間にあわせ「トナム富良野バス」を運行</p>	<p>富良野美瑛広域観光推進協議会は、トナムと富良野エリアの新しい旅行スタイル(ワーケーション)の推進と新たな観光価値の創造に向けた検討のため、7月29日から8月28日までの金土日に「トナム富良野バス」を運行しました。</p>	 <p style="text-align: center;">○</p>
<p>(4) 根室本線(滝川～新得間)フォトコンテストを開催</p>	<p>根室本線対策協議会は、8月8日から令和5年1月31日まで、根室本線(滝川～新得間)の魅力再認識し、多くの方々に知ってもらい、鉄道の利用拡大と魅力発信を図るため、フォトコンテストを開催しています。</p>	 <p style="text-align: center;">○</p>

## 4. 令和4年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(5) 地域住民懇談会の開催</p>	<p>赤平市と新得町は、10月・11月に例年開催されている地域住民との懇談会において、地域公共交通に関する意見交換や利用の呼びかけを行いました。</p> 	<p>○</p>
<p>(6) 小学生による駅的环境美化を実施</p>	<p>上芦別小学校6年生の児童が、昨年に引き続き、ボランティア活動・校外学習の一環で上芦別駅のご線橋、ホーム、待合室のごみ拾いや拭き掃除、虫の駆除等を実施し、駅的环境美化に取り組みました。</p> 	<p>○</p>

# 4. 令和4年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等	取組状況等	目標達成
<p>(7)「JR根室本線の見どころMAP」を作製</p>	<p>根室本線対策協議会は、駅周辺の魅力ある観光スポットなどを紹介した「JR根室本線の見どころMAP」を作製しました。地域住民に配付し、根室線への関心を高めていただき、鉄道利用機会の拡大に結び付ける取り組みとしています。</p>		<p>○</p>
<p>(8)JR根室本線フォトコンテスト入賞作品をHPで発表</p>	<p>根室本線対策協議会は、昨年からの募集をしていたJR根室本線フォトコンテストの入賞作品を決定しました。根室線の魅力を改めて発信し、鉄道の利用促進を図るべく、入賞作品を関係自治体のHP等で発表しました。</p>		<p>○</p>



## 5. 令和4年度取組の検証

- ・新型コロナウイルス感染拡大に最大限留意しながら、JR北海道と地域の皆様が一体となってアクションプランを推進した。
- ・基本指標とした滝川～富良野間の線区別収支は、基準とした平成29年度を上回り、目標を達成することができた。
- ・根室本線対策協議会の事業として、JR根室線（滝川～新得間）フォトコンテストの開催や根室線利用促進マップの作製により、沿線住民、道内外のお客様に対して利用促進のためのPRを実施した。
- ・令和3年度に引き続き、観光ルートとしての交通体系確保・充実に向けた富良野～トマム間のモニターバスの試行を実施し、ご利用者アンケートの集計・分析を行い、地域関係者と次年度運行について、改善点や利用促進などを協議した。
- ・富良野～新得間については、関係者間で今後のあるべき交通体系の検討を続けてきたが、令和5年3月30日に合意に至り、令和6年4月1日から新しい交通体系を始動させることとなった。

I. 利用促進

1. 共通

取組内容	区間 滝川 ～ 富良野 富良野 ～ 新得	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール															
				H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間							
				上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5			
								上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期				
(1) 利用実態調査	◎ ◎	全自治体 JR北海道	○																
(2) 輸送サービスの向上	◎ ◎	全自治体 JR北海道	—																
(3) マイレール意識醸成	◎ ◎	①JR北海道に対する関心を高める取組	○																
		ア. 広報誌やホームページによるJRに関する情報掲載	◎ ◎	全自治体	○														
		イ. 鉄道とバス等を組み合わせた域内総合時刻表の作成・配付	◎ ◎	自治体	○														
		ウ. 自治体によるJR時刻表の作成・配布	◎ ◎	自治体	○														
		エ. 地元住民との懇談会・意見交換会等の実施	◎ ◎	自治体 JR北海道	○														
		オ. シンポジウムの実施	◎ ◎	協議会	—														
		②ノーマイカーデーの実施	◎ ◎	自治体	○														
		③フォトコンテストの写真を活用した年間カレンダーの作成・配布	◎ ◎	協議会 その他	○														
(4) 他の交通機関等との連携	◎ ◎	④リーフレットの作成	◎ ◎	JR北海道	—														
		線区の状況、利用のお願い、集中改革の内容等について、利用者にご理解いただく資料の作成	◎ ◎	JR北海道	—														
(4) 他交通機関等との連携	◎ ◎	①バス等との相互連携の推進	◎ ◎	自治体	—														
		ア. ダイヤ改正時のダイヤの相互連絡	◎ ◎	JR北海道 他交通機関	—														

取組内容	区間		事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
	滝川 ～ 富良野	富良野 ～ 新得			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
					上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5		
									上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(5) 拠点としての駅の活用	①観光案内所の設置	◎	◎	自治体	○														
	②駅舎の整備																		
	ア. 駅舎・待合室の整備	◎	◎	自治体	○														
	イ. トイレ整備	◎	◎	JR北海道 自治体	○														
	③駅前の整備																		
	ア. 駅前広場の整備	◎	◎	自治体 JR北海道	○														
	イ. お客様向け駐車場の整備		◎	自治体 JR北海道	○														
	④駅の活用																		
ア. 地域の皆様に自由に使っていただく駅の拡大	◎	◎	自治体	○															
(6) 当社の行き届かない取組 に対するご協力	①駅における大型荷物対応	◎	◎	自治体 その他	○														
	②駅の環境美化の取組	◎	◎	自治体 その他	○														
(7) 全道利用促進取組との連携	①北海道鉄道活性化協議会との連携※																		
	ア. 公共交通の利用促進に向けた道民運動の展開	◎	◎	全自治体 JR北海道	○														
	イ. 鉄道をはじめとする公共交通利用者の拡大(乗車に繋がる施策の展開)	◎	◎	全自治体 JR北海道	○														
	ウ. 本道における鉄道網の重要性や地域の取組等の全国への発信	◎	◎	全自治体 JR北海道	○														
	エ. 感染症により失われた公共交通需要の回復	◎	◎	全自治体 JR北海道	○														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

2. 生活利用

取組内容	区間		事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール															
	滝川 ～ 富良野	富良野 ～ 新得			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間							
					R1		R2		R3		R4		R5							
					上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期						
(1) お客様サービスの向上	① サービスレベルの向上 大規模輸送障害発生時等の運休等情報内容の充実	◎	◎	JR北海道	○															
(2) 公共交通の利用促進	① 行事等での鉄道利用	◎	◎	自治体	○															
	② 鉄道利用促進のための補助制度等の検討及び導入	◎	◎	自治体	○															

3. 観光利用

取組内容	区間		事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール															
	滝川 ～ 富良野	富良野 ～ 新得			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間							
					R1		R2		R3		R4		R5							
					上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期						
(1) 道内外から根室線にお越しただいたための取組	① 商品造成やキャンペーンの実施 ア. 「富良野・美瑛キャンペーン」の実施	◎	◎	JR北海道	○															
	② 観光列車の運行 ・PR強化によるフラノラベンダーエクスプレスの乗車人員増加	◎		自治体 JR北海道	○															
	③ 閑散期の需要創出 ア. 「大人の休日倶楽部パス」を活用した根室線利用促進の取組	◎	◎	JR北海道	○															
	④ 宣伝協力 ア. 札幌駅や新千歳空港駅等での宣伝協力 (ポスター等の掲出・プロモーション等の実施)	◎	◎	自治体 JR北海道	—															
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	① 地域のお祭りやイベント等を活用した鉄道利用※	◎	◎	自治体	○															
	② 地域との各種連携、観光資源の積極的な活用 ・北の産業革命「炭鉄港」とコラボした空知・室蘭・小樽の鉄道利用周遊促進の協力	◎		自治体	○															

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

4. 広域交通

取組内容	区間 滝川 ～ 富良野 富良野 ～ 新得	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール													
				H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間					
								R1		R2		R3		R4		R5	
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 都市間移動時の利用促進	①札幌等への出張時に、滝川・新得・富良野までの鉄道利用 ②学校行事における鉄道利用の提案・呼びかけ※	◎		自治体	○												
		◎	◎	自治体 JR北海道	—												

II. 経費節減

取組内容	区間 滝川 ～ 富良野 富良野 ～ 新得	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール													
				H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間					
								R1		R2		R3		R4		R5	
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮	①業務委託																
	ア. 乗車券の発売	◎		自治体	○												
	イ. 案内業務等	◎		自治体	○												
	ウ. 駅舎の管理		◎	自治体	○												
	エ. 当社の行き届かない取組に対する自治体側での実施の検討	◎	◎	自治体 JR北海道 その他	—												
(2) コストダウンの取組に対するご理解(個別協議)	①極端にご利用の少ない駅の廃止について各自治体との協議	◎	◎	自治体 JR北海道	○												
	②ご利用の少ない踏切の見直しについて各自治体との協議	◎	◎	自治体 JR北海道	—												
	③老朽化した駅舎・跨線橋の見直し・撤去、簡易なものへの置き換え等	◎	◎	自治体 JR北海道	—												
(3) 中長期的な経費節減策の検討	①中長期的な視点に立った設備内容のスリム化検討 ・設備投資、行き違い設備等	◎	◎	自治体 JR北海道	—												

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

Ⅲ. その他

取組内容	区間		事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール															
	滝川 ～ 富良野	富良野 ～ 新得			H29				H30				第1期集中改革期間				第2期集中改革期間			
					R1		R2		R3		R4		R5							
					上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期						
(1) 3つの側面からの検討・協議(生活・観光・物流)	①協議会の開催 ・協議会の方針に基づき、事務レベル会議を含めて、各種テーマの検討を進める	◎	◎	自治体 JR北海道	○															
	②ヒアリングの実施	◎	◎	自治体 JR北海道	—															
(2) あるべき交通体系について徹底的な検討	①2次交通も含めたあるべき交通体系について検討																			
	ア. 鉄道と各種バスとの連携による相互に成り立つ仕組み作りに向けた検討	◎	◎	自治体 JR北海道	—															
	イ. 並行するバス、沿線住民の鉄道利用状況を踏まえた持続的な利便性の高い交通体系にむけた協議	◎	◎	自治体 JR北海道	—															
	ウ. 観光ルートとしての交通体系確保・充実に向けたバスの検討・試行		◎	自治体 JR北海道	○															
	②富良野～新得間における、あるべき交通体系の検討		◎	自治体 JR北海道	◎															
(3) その他地域の皆様と一体となった取り組み	①相互連携の検討	◎	◎	自治体 JR北海道 その他	—															

※協議に期限を設けない

**アクションプラン**  
**第2期計画2年目報告書**  
**(令和4年度)**  
**室蘭線**

---

**令和5年8月**

**室蘭線アクションプラン実行委員会**

# 1. はじめに

---

- **本報告書は、令和3年4月16日に公表されたアクションプラン第2期計画1年目の取組状況について、室蘭線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **第2期計画2年目は、新型コロナウイルスの影響を引き続き受けたが、感染拡大防止に最大限留意しながら、線区を活性化するためアクションプランの推進に取り組んだ。**
- **本検証とともに、JR北海道と地域の関係者が連携して実施している調査・実証事業の結果を踏まえて、令和5年度内に行う総括的な検証につなげていく。**



## 2. 基本指標・関連指標の検証

### 基本指標の概況

- ・線区別収支は、▲1,069百万円となり基準とした平成29年度より164百万円上回った。  
営業収益は、定期券の漸減傾向が続いているが、行動制限の緩和によりご利用が増加したこと等から、定期外の回復が見られ、対前年9百万円増加した100百万円（対前年110%）となった。  
営業費用は修繕費等が減少したことから、対前年4百万円減少した1,170百万円（対前年99%）となった。  
線区別収支は結果として、対前年+13百万円となった。
- ・輸送密度は326人/日となり、基準とした平成29年度より113人/日下回った。

#### ▼令和4年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和4年度 (実績)	対目標	目標 達成
線区別収支	▲1,233百万円	▲1,069百万円	164百万円	達成
輸送密度	439人/日	326人/日	▲113人/日	未達成

### 3. 具体的取組の検証

#### 進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、達成見込「○」が88%、未評価「—」12%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。

#### ▼令和4年度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
○	42	88%	鉄道利用イベントの実施による観光利用や広報誌・SNSを活用した鉄道利用促進、拠点としての駅の活用、出前勉強会等のマイレール意識醸成など
—	6	12%	「限りある車両でどのようなダイヤがよいか、自治体のご意見をお聞きする意見交換の実施」、「二次交通との連携に向けた検討」などの取組み
合計	48	100%	

## 4. 令和4年度象徴的な取組について①



取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(1)ヘルシーウォーキング開催による利用促進</p>	<p>苫小牧市は6月12日JRヘルシーウォーキング沼ノ端開催(485名参加)にあわせ、市の公式キャラクターがコース途中の道の駅でお出迎えを行いました。また、記念撮影会を実施し、74組が参加しました。</p>	 <p>(令和4年6月12日撮影 道の駅ウトナイ湖)</p> <p style="text-align: center;">○</p>
<p>(2)助成金を活用した日帰り温泉旅行の実施</p>	<p>安平町の親睦団体「早来かしわ会」は、6月30日、安平町のグループ旅行助成金を活用して29名で室蘭線を往復利用する日帰り栗山温泉旅行を実施しました。令和2年度から開始したグループ旅行助成金の件数は12件になりました。</p>	 <p>(令和4年6月30日撮影 早来駅)</p> <p style="text-align: center;">○</p>

## 4. 令和4年度象徴的な取組について②



取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(3) 地域が主体となった団体臨時列車お出迎えイベント実施</p>	<p>9月24日『室蘭本線130周年記念号の旅』にあわせ、JR室蘭線活性化連絡協議会※では、沿線お観光協会等と連携し、停車駅では、沿線の皆様によるお出迎えとお見送りを行ったほか、追分駅では、沿線地域の特産品販売やPRイベント等を実施しました。</p> <div data-bbox="1301 501 1848 850"> </div> <p>(令和4年9月24日撮影 岩見沢駅/ 追分駅)</p>	<p>○</p>
<p>(4) 出前授業・体験乗車の実施</p>	<p>栗山小学校にてマイレール意識を醸成する取組として2年生50名を対象に鉄道の仕事や列車の乗り方など出前授業を実施しました。後日、栗山駅から由仁駅まで体験乗車を行いました。</p> <div data-bbox="1301 943 1848 1316"> </div> <p>(9月16日撮影・栗山小/ 9月29日撮影・栗山駅)</p>	<p>○</p>

※苫小牧市、安平町、由仁町、栗山町、岩見沢市で構成。

# 4. 令和4年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等	取組状況等	目標達成
<p>(5) 室蘭本線開通130周年「あびら鉄道カードラリー」の実施</p>	<p>安平町とあびら観光協会は昨年引き続き「第2弾あびら鉄道カードラリー」を実施しました。札幌圏や沿線の駅などで告知を行い、町内の観光施設などを訪れた利用者にカードを配布し、室蘭線の利用促進に取り組みました。</p>		<p>○</p>
<p>(6) 広報誌での公共交通利用促進記事の掲載</p>	<p>苫小牧市は、「広報とまこまい10月号」に「身近な公共交通がますます便利に！」と題して、便利でお得な利用方法などを掲載しました。パーク&amp;トレインやバスロケーションシステムなどを紹介し、鉄道など公共交通の利用促進を図りました。</p>		<p>○</p>

## 4. 令和4年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等	目標達成	
(7) 町内TVで鉄道乗り方PR	<p>安平町は「鉄道とバスとの乗継ガイド(30秒CM)」を制作し、あびらチャンネル(町内限定放送)にて2月16日から放映を開始しました。利用方法を紹介することで鉄道を身近な乗り物としてPRしました。</p>	 <p>(令和5年1月19日撮影・追分駅)</p>	○
(8) コンテスト応募写真を活用した室蘭線PRの実施	<p>JR室蘭線活性化連絡協議会※は、Instagramで募集した室蘭線(岩見沢～苫小牧間)を利用したお出かけ(観光、ビジネス、買い物など)に関する写真を活用したポスターを作成しました。3月から札幌エリアの主要駅に掲示し、室蘭線への来訪をPRしました。</p>	 <p>(令和5年3月6日撮影・桑園駅)</p>	○

※苫小牧市、安平町、由仁町、栗山町、岩見沢市で構成。

## 5. 令和4年度取組の検証

- ・新型コロナウイルス感染拡大に最大限留意しながら、JR北海道と地域の皆様が、一体となってアクションプランを推進することにより、室蘭線を活性化するために取り組む機運の醸成がなされた。
- ・室蘭線130周年カードラリーや記念団体列車のお出迎えイベントや室蘭線利用のグループ旅行の運賃助成や鉄道利用による祭り来場者への特典付与などの利用促進に取り組んだ。
- ・SNSを活用した「室蘭線インスタお出かけコンテスト」や投稿写真を活用した札幌圏でのポスター展開による誘客、広報誌や町内テレビを活用した鉄道利用PRなどの情報発信にも取り組んだ。
- ・学校教育現場にJR社員が赴き、室蘭線の歴史や鉄道の仕事、列車の乗り方教室や体験乗車を通じたマイルール意識の醸成を図った。
- ・新型コロナウイルスの影響もあり、基準とした平成29年度の目標値に対して、線区別収支は164百万円改善したが、輸送密度は▲113人/日となり、目標は未達成にある。
- ・今後については、新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、人流が回復基調にあることから、沿線でのイベントや観光素材の活用による積極的な利用促進策を実施し、線区の収支改善を図る。

I. 利用促進

1. 共通

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																	
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間									
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5					
(1) 利用実態調査	①統計値では把握しがたいお客様の層等を把握するための実態調査実施※	JR北海道 全自治体	○																	
(2) 輸送サービスの向上	①限りある車両でどのようなダイヤがよいか、自治体のご意見をお聞きする意見交換の実施	全自治体 JR北海道	—																	
	②「地域公共交通形成計画」における室蘭線利用に向けた取組の実施	自治体	○																	
(3) マイレール意識醸成	①JR北海道に対する関心を高める取組																			
	ア. JRに関する利用促進特集等沿線自治体相互間の送客に向けた情報掲載※	全自治体	○																	
	イ. 鉄道とバス等を組み合わせた域内総合時刻表の作成・配付	自治体	○																	
	ウ. 地元住民との懇談会等の実施※	自治体	○																	
	エ. 利用促進ポスターの作成と掲示	全自治体	○																	
	②ノーマイカーデー実施による鉄道利用促進	自治体	○																	
	③エリア内地上一般放送活用による鉄道利用促進広報活動の実施	自治体	○																	
	④車窓フォトコンテスト等の実施	全自治体 JR北海道	○																	
⑤リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革の内容等について、利用者にご理解いただく資料の作成	JR北海道	—																		
⑥出前教室の実施 教育現場にJR社員が赴きJR北海道及び線区に関するPRを実施※	JR北海道 全自治体	○																		

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組



取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																	
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間									
							R1		R2		R3		R4		R5					
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期				
(4) 他の交通機関等との連携	①バス等との相互連携の推進 ダイヤ改正時のダイヤの相互連絡の改善	JR北海道 他交通機関	○																	
	②2次交通との連携に向けた検討	自治体 JR北海道 その他	—																	
(5) 拠点としての駅の活用	①観光案内所・売店・飲食店等の設置	自治体	○																	
	②駅舎の整備																			
	ア. 駅舎・待合室の整備	自治体 JR北海道	○																	
	イ. 駅付帯バリアフリー施設の整備・維持・管理	自治体	○																	
	ウ. トイレ整備・維持・管理 ・地域による洋式トイレの整備・維持・管理	自治体	○																	
	・公営トイレの駅利用者利用	自治体	○																	
	③駅の活用 地域の皆様に自由に使っていただく取組	自治体 その他	○																	
④駅を中心としたまちづくり 駅周辺への店舗・公共施設等の設置	自治体	○																		
(6) 当社の行き届かない取組 に対するご協力	①駅的环境美化の取組 ・花壇等の整備・管理	自治体 その他	○																	
(7) 全道利用促進取組との連携	①北海道鉄道活性化協議会との連携																			
	ア. 公共交通の利用促進に向けた道民運動の 展開	全自治体 JR北海道	○																	
	イ. 鉄道をはじめとする公共交通利用者の 拡大※(乗車に繋がる施策の展開)		○																	
	ウ. 本道における鉄道網の重要性や地域の 取組等の全国への発信		○																	
エ. 感染症により失われた公共交通需要の 回復※	○																			

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

2. 生活利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5		
(1) お客様サービスの向上	①サービスレベルの向上	JR北海道	○														
(2) 公共交通の利用促進	①鉄道利用促進のための補助制度等検討・実施 ・通学定期への補助	自治体	○														
	②行事等での鉄道利用※	自治体	○														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール														
			H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間						
			上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5		
(1) 道内外から室蘭線にお越し いただくための取組	①沿線や札幌周辺地域にお住いの皆様を対象とした お出かけ勧誘 ア. ヘルシーウォーキングの開催情報の発信・PR※	JR北海道 自治体	○														
	②宣伝協力 ア. 駅等での宣伝協力	JR北海道 自治体	○														
	③着地型観光の取組実施 ア. 周遊ツールとしてのレンタサイクルの取組	自治体 その他	○														
(2) 地域の皆様と連携した 取組の推進	①地域のお祭りやイベント等を活用した鉄道利用促進の 検討・実施 ア. 地域イベント・お祭りの活用 ・鉄道利用者限定のお祭り会場利用クーポンの配布※ ・地域イベント等と連動した鉄道利用策の実施※	自治体 全自治体	○ ○														
	②地域との各種連携、観光資源の積極的な活用 ア. 北の産業革命「炭鉄港」を活用した室蘭線の利用 促進 イ. 沿線の観光地、旅館、飲食店等と連携した取組の 実施 ・道の駅開業を活用した鉄道利用促進 ウ. 沿線自治体や観光協会等と連携したイベント等の 企画・実施・協力	自治体 JR北海道 自治体 自治体	○ ○ ○ ○														

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組



**アクションプラン**  
**第2期計画2年目報告書**  
**(令和4年度)**  
**日高線**

---

**令和5年8月**  
**日高線アクションプラン実行委員会**

# 1. はじめに

---

- **本報告書は、令和3年4月16日に公表されたアクションプラン第2期計画2年目の取組状況について、日高線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **第2期計画2年目は、新型コロナウイルスの影響を受けたが、感染拡大防止に最大限留意しながら、線区を活性化するためアクションプランの推進に取り組んだ。**
- **本検証とともに、JR北海道と地域の関係者が連携して実施している調査・実証事業の結果を踏まえて、令和5年度内に行う総括的な検証につなげていく。**

## 2. 基本指標・関連指標の検証

### 基本指標の概況

- ・線区別収支は、▲364百万円となり基準とした平成29年度より62百万円上回った。  
営業収益は、定期利用は減少傾向にあるが、定期外は行動制限の緩和による人流の回復傾向により、対前年3百万円増加した38百万円(対前年110%)となった。  
営業費用は修繕費等の減少により対前年11百万円減少した402百万円(対前年97%)となった。  
線区別収支は結果として、対前年+15百万円となった。
- ・輸送密度は398人/日となり、基準とした平成29年度より51人/日下回った。

#### ▼令和4年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和4年度 (実績)	対目標	目標 達成
線区別収支	▲426百万円	▲364百万円	62百万円	達成
輸送密度	449人/日	398人/日	▲51人/日	未達成

### 3. 具体的取組の検証


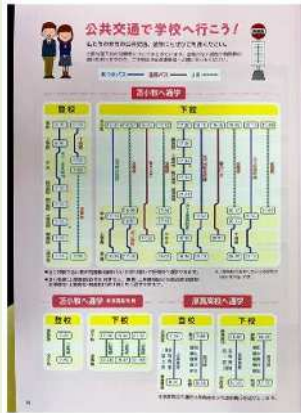
#### 進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、達成「◎」が5%、達成見込「○」が68%、一部達成「△」が3%、未評価「—」が24%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。

#### ▼令和4年度アクションプラン進捗状況



進捗状況	件数	割合	コメント
◎	2	5%	「浜田浦駅廃止」「中期的に鉄道設備を維持する取り組み」
○	25	68%	「利用実態調査」「鉄道利用促進のための補助制度等検討・実施」などの取り組み
△	1	3%	「駅前広場に必要な機能・配置の検討」の取り組み
—	9	24%	「限りある車両でどのようなダイヤがよいか、地域の皆様のご意見をお聞きする意見交換の実施」「相互連携の検討」などの取り組み
合計	37	100%	

# 4. 令和4年度象徴的な取組について①

取組内容	取組状況等	取組状況等	目標達成
<p>(1) JRヘルシーウォーキングコース新設に合わせた日高線PR</p>	<p>今年度から、鷗川駅発着の「いつでもウォークコース」を新設。たんぽぽ公園等のコースの見どころや「カムイサウルス(むかわ竜)復興トレイン」や「道央 花の恵み」等、日高線を走る列車を紹介したポスター「日高線でキハ40三昧！」を札幌圏の主要駅に掲出しました。</p>	 <p>(6月7日撮影 桑園駅)</p>	○
<p>(2) 厚真町公共交通ガイドブック改良・配布</p>	<p>厚真町は4月22日、第一期から作成・配布を継続しているJRの時刻や運賃等を掲載した「厚真町公共交通ガイドブック」に高校通学ページ「公共交通で学校へ行こう！」を追加し、町内全戸と転入者に対して約2,000部配布しました。</p>		○



## 4. 令和4年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(3) 出前授業・体験乗車の実施</p>	<p>7月6日、勇払小学校で初めて1～3年生24名を対象に鉄道の仕事や列車の乗り方などをテーマに出前授業を実施しました。7月12日には、勇払駅から苫小牧駅まで体験乗車を行い、また、普段見ることが出来ない苫小牧駅の内部を見学しました。</p> <div data-bbox="1283 523 1856 874">  </div> <p>(7月6日撮影・勇払小/ 7月12日撮影・苫小牧駅)</p>	<p>○</p>
<p>(4) イベントにあわせたラッピング列車の運行</p>	<p>9月11日、3年ぶりに開催された「むかわグルメフェスタ」に合わせ、むかわ竜ラッピングトレインを運行しました。イベント開催の告知ポスターを札幌圏の主要駅に掲出し、多数の親子連れが乗車しました。</p> <div data-bbox="1283 978 1856 1358">  </div> <p>(9月11日撮影・鶴川駅/イベント会場)</p>	<p>○</p>

## 4. 令和4年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等		目標達成
<p>(5) 一部列車を運休して線路集中メンテナンスを実施</p>	<p>鉄道施設を維持するために11月7日～11日、苫小牧駅～鷓川駅間で日中時間帯の一部列車を運休し、線路集中メンテナンスを実施しました。約1,500本の木製マクラギを交換して線路の状態を改善しました。</p>	 <p>(11月7日撮影・勇払～浜厚真間)</p>	◎
<p>(6) 恐竜フェスタ開催に合わせたラッピング列車の運行</p>	<p>11月5日・6日にむかわ町が穂別地区で開催した「むかわ町恐竜フェスタ」にあわせて「カムイサウルス(むかわ竜)復興トレイン」を運行しました。鷓川駅から会場へは連絡バスを運行し、札幌圏の主要駅でパンフレットを配架し、日高線の利用促進を図りました。</p>	 <p>(11月5日鷓川駅で撮影)</p>	○

## 4. 令和4年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(7) 浜田浦駅の廃止による維持管理費の節減</p>	<p>地域の皆様のご理解をいただき、3月のダイヤ改正で浜田浦駅を廃止しました。廃止前日(3月17日)には、同駅において地元住民、町関係者の皆様によるセレモニーが行われました。</p>	 <p>(3月17日撮影・浜田浦駅)</p>
<p>(8) 公共交通利用促進ポスター作成・掲示</p>	<p>苫小牧市は2月4日～5日、3年ぶりの開催となった「とまこまいスケートまつり」にあわせ、会場までの鉄道やバス時刻表、アクセスを掲載したポスターを作成し、札幌エリアの主要駅及び公共施設に掲出しました。</p>	 <p>(2月4日撮影・苫小牧駅)</p>

## 5. 令和4年度取組の検証

- ・新型コロナウイルス感染拡大に最大限留意しながら、JR北海道と地域の皆様が一体となってアクションプランを推進することにより、日高線を活性化するために取り組む機運の醸成がなされた。
- ・むかわ町の定期券助成による鶴川高校の列車通学支援を継続したことにより収支改善に継続して貢献した。
- ・日高線で運行するラッピング気動車と新設したウォーキングコースのPRを札幌圏で継続実施するとともに、むかわ町のイベントに合わせて「カムイサウルス(むかわ竜)復興トレイン」を運行し、札幌圏からの誘客や公共交通利用促進ポスター、公共交通ガイドブック、小学校での出前授業により、エリア内の利用促進、マイレール意識醸成に取り組んだ。
- ・浜田浦駅廃止や線路集中メンテナンスを実施し、経費節減・輸送の安全性確保に取り組んだ。
- ・基準とした平成29年度の目標値に対して、線区別収支は+62百万円となり、目標を達成したが、新型コロナウイルスの影響や定期利用の減少により、輸送密度は▲51人/日となり、目標は未達成にある。
- ・今後については、新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、人流が回復基調にあることから、沿線でのイベントや観光素材の活用による積極的な利用促進策を実施し、線区の収支改善を図る。



区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																	
				H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間									
				上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5					
(5) 拠点としての駅の活用	イ. 駅付帯バリアフリー施設・維持・管理 ・ホーム、改札に繋がるエレベーター付自由通路整備  ・オストメイトトイレの設置	自治体  自治体	○																		
	ウ. トイレ整備・維持・管理 ・洋式トイレの整備・維持・管理	自治体	○																		
	③ 駅前広場に必要機能・配置の検討 ・駅前広場の再整備 ・バリアフリー化の検討	自治体	△																		
(6) 当社の行き届かない取組に対するご協力	① 駅前の環境整備 ・駅前広場の整備・維持・管理	自治体	○																		
(7) 全道利用促進取組との連携	① 北海道鉄道活性化協議会との連携の検討 ア. 公共交通の利用促進に向けた道民運動の展開	全自治体 JR北海道	○																		
	イ. 鉄道をはじめとする公共交通利用者の拡大※ (乗車に繋がる施策の展開)		○																		
	ウ. 本道における線路網の重要性や地域の取組等の全国への配信		○																		
	エ. 感染症により失われた公共交通需要の回復※		○																		

2. 生活利用

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																
				H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間								
				上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5				
(1) お客様サービスの向上	① サービスレベルの向上 ・大規模輸送障害発生時等の運休等の情報内容の充実	JR北海道	○																	
(2) 公共交通の利用促進	① 鉄道利用促進のための補助制度等検討・実施	自治体	○																	
	② 行事等での鉄道利用 ・日中時間帯の鉄道利用を図るため行事等での鉄道利用を依頼※	全自治体	○																	

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

3. 観光利用

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																
				H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間								
				上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5				
(1) 道内外から日高線にお越しただくための取組	①沿線や札幌周辺地域にお住まいの皆様を対象にしたお出かけの勧誘	全自治体 JR北海道	○																	
	②宣伝協力 ア. 札幌駅や新千歳空港駅等での宣伝協力(ポスター等の掲出・プロモーション等の実施)	JR北海道 全自治体	○																	
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	①沿線人気イベントを活用した鉄道利用促進※	全自治体 JR北海道	○																	
	②沿線をPRするラッピング列車運行の検討	自治体 JR北海道	○																	
	③JR利用者への地元施設特典を付与し、JR利用促進と地元施設の活性化を図る	自治体 その他 JR北海道	—																	

4. 広域交通

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール																
				H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間								
				上期	下期	上期	下期	R1		R2		R3		R4		R5				
(1) 出張等での鉄道利用	①官公庁・域内事業所等において、札幌までの出張時等に、苫小牧～鷲川間の鉄道利用に取り組む	全自治体 JR北海道	○																	
	②学校行事等における鉄道利用促進の提案・呼びかけ※	全自治体 JR北海道	—																	

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

II 経費節減

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール															
				H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間							
								R1		R2		R3		R4		R5			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮のご相談	①業務のお手伝いのお願い ・駅清掃・巡回・ホーム除雪	自治体	○																
	②当社の行き届かない取組に対するご協力	自治体	—																
(2) コストダウンの取組に対するご理解	①極端にご利用の少ない駅の廃止についての各自治体との協議	全自治体 JR北海道	◎																
	②ご利用の少ない踏切の見直しについての各自治体との協議	全自治体 JR北海道	—																

III. その他

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第2期計画)	スケジュール															
				H29		H30		第1期集中改革期間				第2期集中改革期間							
								R1		R2		R3		R4		R5			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) あるべき交通体系について徹底的な検討	①あるべき交通体系について地域の皆様と検討の開始	全自治体 JR北海道 その他	—																
	②「地域公共交通形成計画」の策定 ・日高線と他の交通機関で連携した地域最適な公共交通ネットワーク再構築への検討	自治体	○																
(2) その他地域の皆様と一体となった取り組み	①相互連携の検討	全自治体 JR北海道	—																
(3) 中期的に鉄道設備を維持するための取り組みの検討	①「線路集中メンテナンス日」を設定したマクラギ交換工事の実施	JR北海道	◎																